

**首里杜地区整備基本計画策定に向けた
地域アンケート報告書**

2022(令和4)年4月

沖縄県

目次

1. 首里社地区住民アンケート結果	1
2. 学校保護者アンケート結果	25
3. 各種アンケート調査票	41

1. 首里杜地区住民アンケート結果

(1)調査概要

首里地域の交通環境改善や良好な景観形成などによる歴史まちづくりの推進や、首里城公園内の中城御殿跡の復元整備に向けて、首里杜地区で暮らす住民が交通、文化に対して日頃感じている意見を把握するためアンケート調査を実施した。

調査概要

項目	内容
対象者	首里杜地区内在住の住民 2,000 人(無作為抽出)
調査期間	令和 3 年 9 月 24 日(金)~10 月 8 日(金)
回収数	668 件(返信用封筒 575 件/Web 93 件)
回収率	33.4%
調査方法	地区別に人口に応じた配布数を設定し、住宅を対象にポスティング配布。回答方法は返信用封筒と Web のいずれかを選択してもらった。

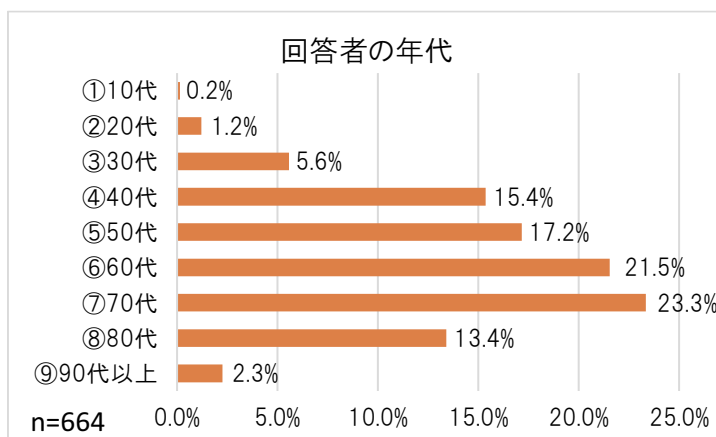
(2)調査結果の詳細

1)ご自身について

①年齢

回答者の年齢は、「⑦70代」155人(23.3%)が最も多く、次いで「⑥60代」143人(21.5%)、「⑤50代」114人(17.2%)となった。

年代	回答数	割合
①10代	1	0.2%
②20代	8	1.2%
③30代	37	5.6%
④40代	102	15.4%
⑤50代	114	17.2%
⑥60代	143	21.5%
⑦70代	155	23.3%
⑧80代	89	13.4%
⑨90代以上	15	2.3%
無回答	4	-
合計(無回答除く)	664	100.0%



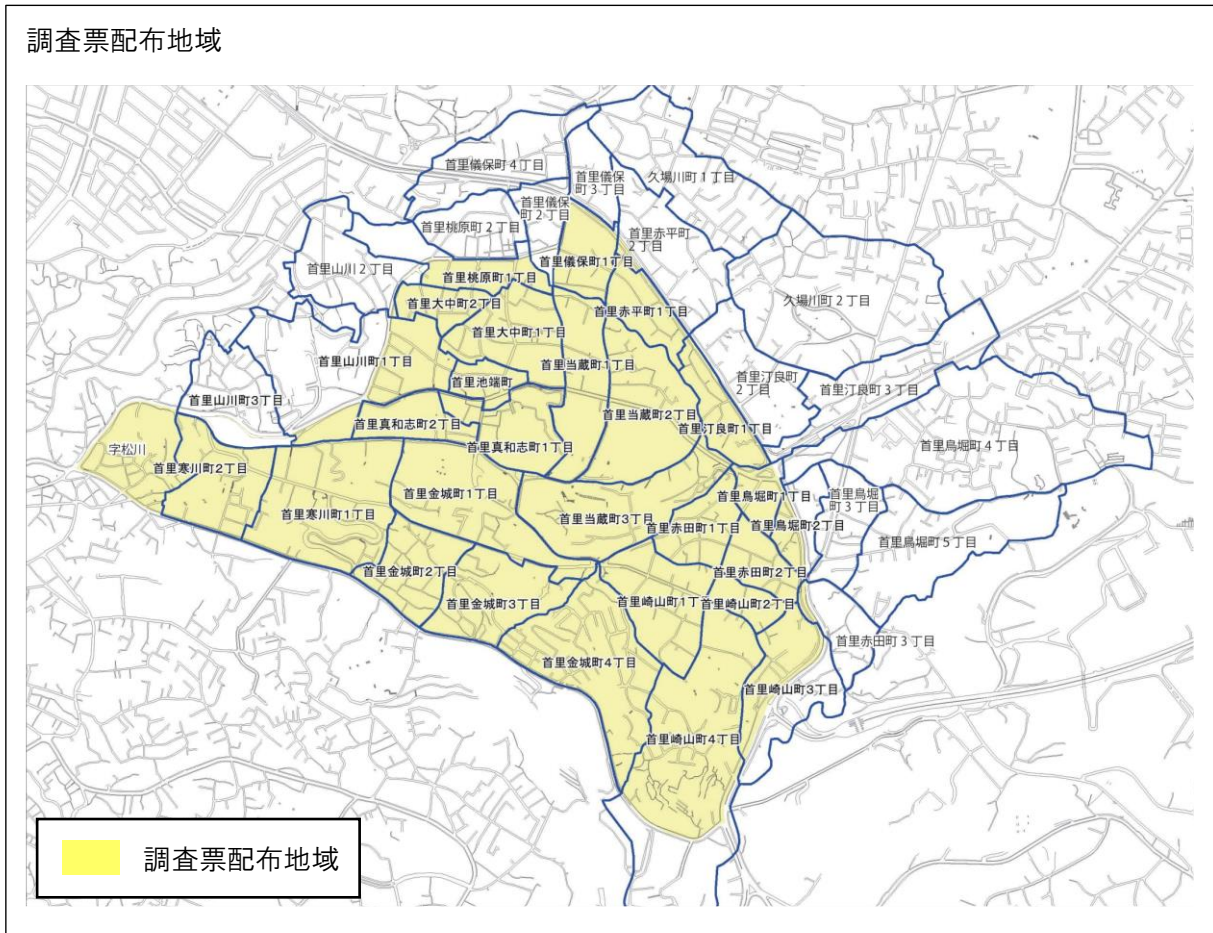
②住んでいる地区

回答者の住んでいる地区は、下表のとおりとなった。

住んでいる地域	1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	無回答 回答数	合計(無回答含む)		
	回答数	回答数	回答数	回答数		回答数	配布数	回収率
①赤田	17	10	1		28	56	143	39.2%
②赤平	9				9	18	46	39.1%
③池端					11	11	35	31.4%
④大中	18	9			35	62	153	40.5%
⑤金城	19	15	8	29	49	120	385	31.2%
⑥儀保	13				4	17	56	30.4%
⑦崎山	48	1	1	43	32	125	391	32.0%
⑧寒川	15	38			4	57	218	26.1%
⑨汀良	17				2	19	58	32.8%
⑩当蔵	19	20	2		39	80	173	46.2%
⑪桃原	7	1			5	13	47	27.7%
⑫鳥堀	5	5		1	8	19	56	33.9%
⑬松川	1				13	14	63	22.2%
⑭真和志	11	4			8	23	75	30.7%
⑮山川	14				14	28	101	27.7%
無回答	3	1	0	1	1	6	-	-

※グレーアウト部分は、配布対象外。池端町、字松川については丁目なしの地域である。

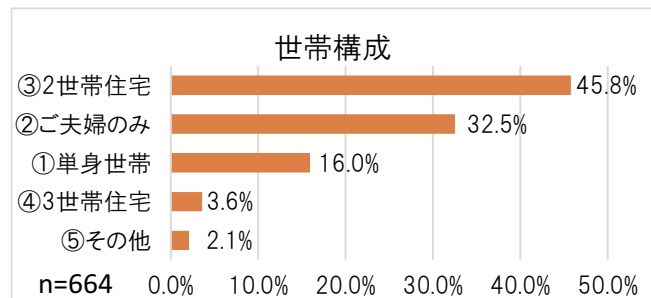
調査票配布地域



③世帯構成

回答者の世帯構成は、「③2世帯住宅」304人（45.8%）が最も多く、次いで「②ご夫婦のみ」216人（32.5%）、「①単身世帯」106人（16.0%）となった。

世帯構成	回答数	割合
③2世帯住宅	304	45.8%
②ご夫婦のみ	216	32.5%
①単身世帯	106	16.0%
④3世帯住宅	24	3.6%
⑤その他	14	2.1%
無回答	4	-
合計(無回答除く)	664	100.0%



「⑤その他」の主な内容

・兄弟、姉妹(2人) ・夫婦+甥 ・店舗(2人) など

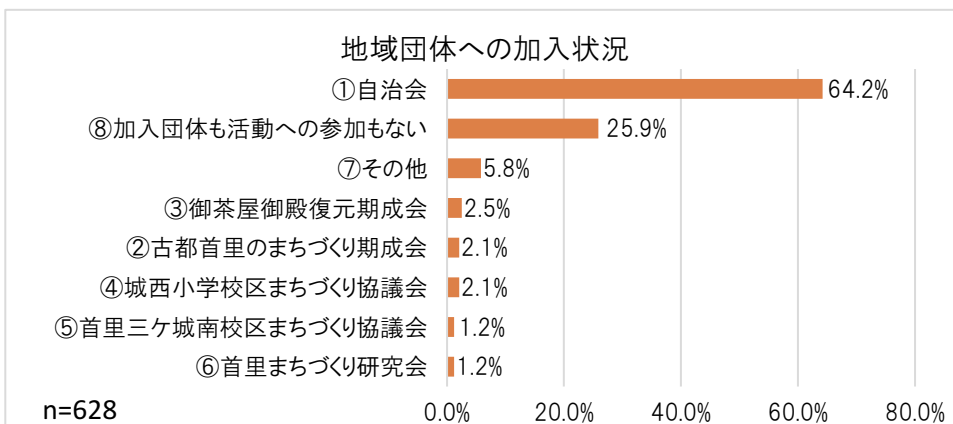
④地域活動への参加状況(複数回答可)

回答者の地域活動への参加状況は、「①自治会」429人（64.2%）への加入が最も多く、次いで「⑧加入団体も活動への参加もない」173人（25.9%）、「⑦その他」39人（5.8%）となった。

地域団体への加入状況	回答数	割合
①自治会	429	64.2%
⑧加入団体も活動への参加もない	173	25.9%
⑦その他	39	5.8%
③御茶屋御殿復元期成会	17	2.5%
②古都首里のまちづくり期成会	14	2.1%
④城西小学校区まちづくり協議会	14	2.1%
⑤首里三ヶ城南校区まちづくり協議会	8	1.2%
⑥首里まちづくり研究会	8	1.2%
無回答	40	-
合計(無回答除く)	702	-

「⑦その他」の主な内容

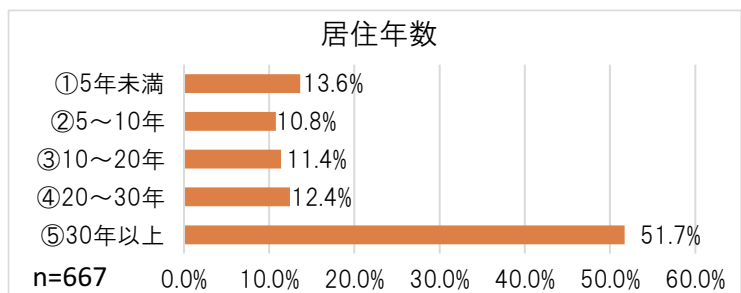
・第32軍司令部壕保存・公開を求める会(4人)
 ・清掃活動(6人)
 ・首里城公園友の会(2人)
 ・首里文化祭・首里城祭
 ・古都首里探訪会
 ・消防団
 ・ふれあい会(老人会)
 ・子ども会
 ・首里振興会 など



⑤首里杜地区内に住んでいる年数

回答者が首里杜地区内に住んでいる年数は、「⑤30年以上」345人（51.7%）が最も多く、次いで「①5年未満」91人（13.6%）、「④20～30年」83人（12.4%）となった。

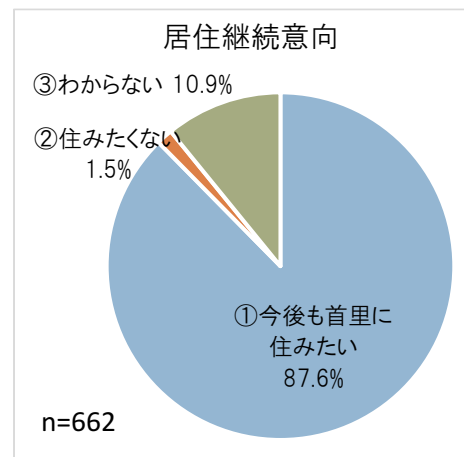
居住年数	回答数	割合
①5年未満	91	13.6%
②5～10年	72	10.8%
③10～20年	76	11.4%
④20～30年	83	12.4%
⑤30年以上	345	51.7%
無回答	1	-
合計(無回答除く)	667	100.0%



⑥居住継続意向

回答者が首里杜地区内に住み続けたいと思うかについては、「①今後も首里に住みたい」580人（87.6%）が最も多く、次いで「③わからない」72人（10.9%）、「②住みたくない」10人（1.5%）となった。

居住継続意向	回答数	割合
①今後も首里に住みたい	580	87.6%
②住みたくない	10	1.5%
③わからない	72	10.9%
無回答	6	-
合計(無回答除く)	662	100.0%



⑦居住継続意向の理由

前項⑥の選択肢を選んだ理由について、テキストマイニング*¹により共起ネットワーク図*²を作成し、分析した。

*1 テキストマイニング:テキストを対象にデータ解析をする手法。文章を単語など「言語上、意味のある最小単位」で区切ることで、出現頻度、語句の相関関係などの傾向やパターンなど、有用な知見を抽出する。

参考 ITトレンドIT用語集 https://it-trend.jp/words/text_mining

*2 共起ネットワーク図:文章中出现する語と語が共に出現する(共起する)関係性を表した図。語と語が線で結ばれることで関係性の有無を表し、線の太さで関連の強さを表現している。円が大きいほど出現回数が多い。参考 『テキストマイニング入門』末吉美喜、2019年2月、(株)オーム社

■「①今後も首里に住み続けたい」と回答した人の理由

以下の4つの理由に大きく分けられる。

住環境がよい(赤+青グループ)…赤グループでは緑が多く落ち着いた地域であること、青グループでは静かな環境がよいと評価されている。

利便性がよい(黄色グループ)…首里城以外にも郵便局や銀行など生活に必要な施設があることや、モノレール駅や高速インターにも近いことで、都心や空港へアクセスしやすいことから利便性がよいと評価されている。

住み慣れた場所だから(緑グループ)…首里地域で生まれ育った人や昔から住んでいる人などが首里に住み続けたいと考えている。

歴史文化を感じるから(紫グループ)…景観のよさや文化財、伝統行事が多いことで歴史・文化を感じるまちとして評価されている。

■「②住みたくない」「③わからない」と回答した人の理由

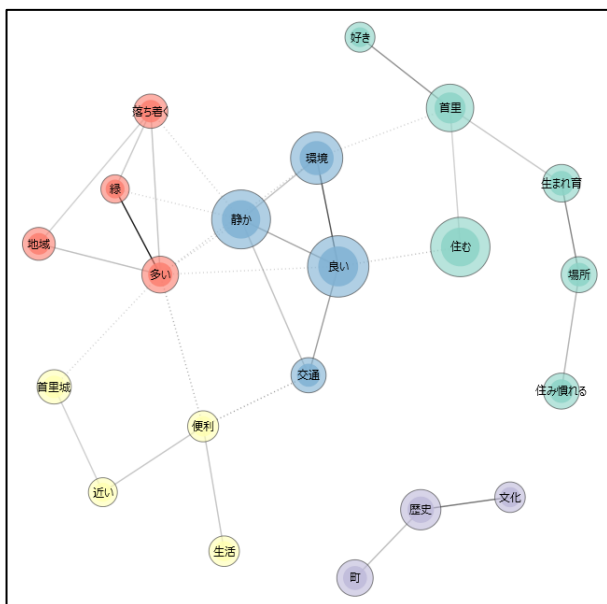
以下の4つの理由に大きく分けられる。

交通環境が悪い(赤グループ)…渋滞が多いことや、公共交通のバスが少ないこと、レンタカーやバスなど観光車両が多いことなどで、交通環境が悪いことを理由としている。

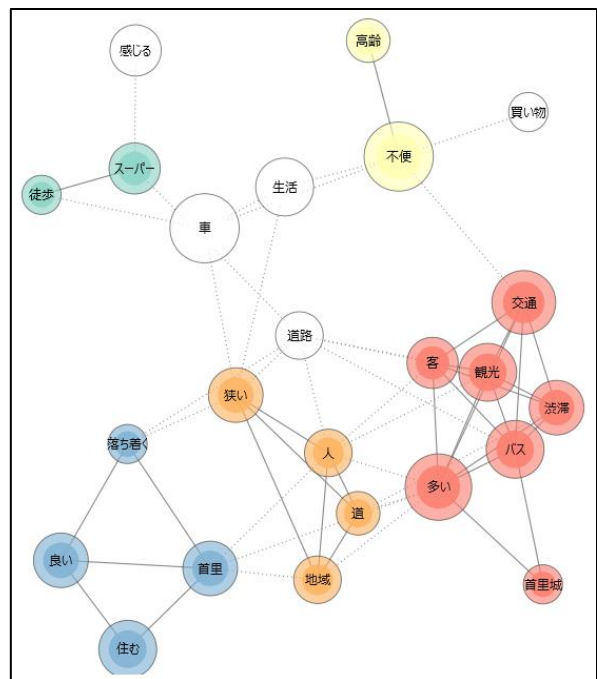
日常生活の不便(黄色+緑グループ)…車がないと生活が不便であること、スーパーが徒歩圏になく買い物に不便であること、それにより将来高齢になった時に不安、といった理由があげられている。

道の狭さ(緑グループ)…地域内に狭い道が多いことで住みにくさを感じている。

「①今後も首里に住み続けたい」と回答した人の理由



「②住みたくない」「③わからない」と回答した人の理由



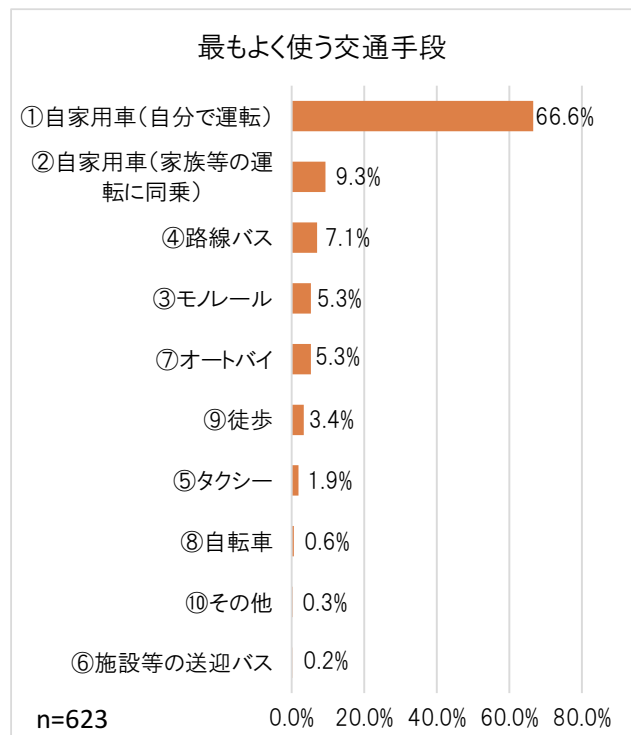
※青グループは「静かで落ち着いているものの、このような不満がある」といった内容の文章が多いため出現したと考えられる。

2)交通について

①最もよく使う交通手段

回答者が最もよく使う交通手段について、「①自家用車（自分で運転）」415人（66.6%）が最も多く、次いで「②自家用車（家族等の運転に同乗）」58人（9.3%）、「④路線バス」44人（7.1%）となった。

最もよく使う交通手段	回答数	割合
①自家用車（自分で運転）	415	66.6%
②自家用車（家族等の運転に同乗）	58	9.3%
④路線バス	44	7.1%
③モノレール	33	5.3%
⑦オートバイ	33	5.3%
⑨徒歩	21	3.4%
⑤タクシー	12	1.9%
⑧自転車	4	0.6%
⑩その他	2	0.3%
⑥施設等の送迎バス	1	0.2%
無回答	45	-
合計（無回答除く）	623	100.0%



「⑩その他」の主な内容

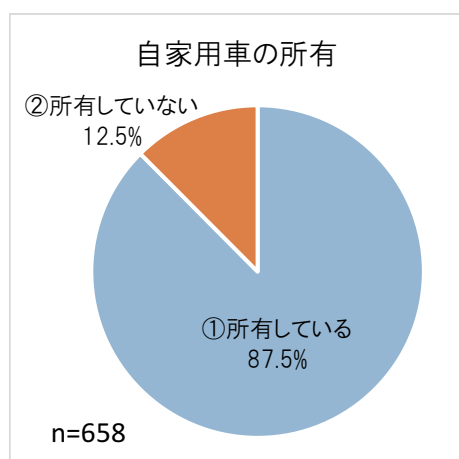
・日常でかけない ・セニアカー

②自家用車の所有

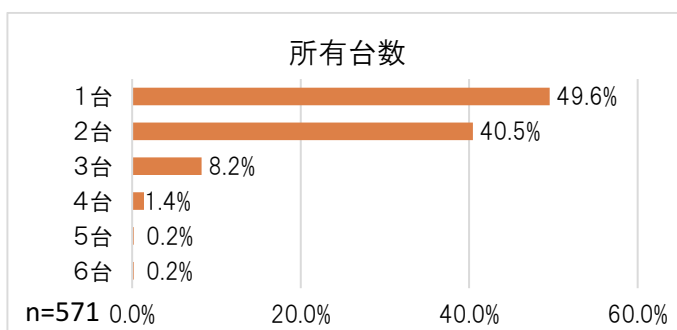
回答者の自家用車所有状況について、「①所有している」576人（87.5%）が最も多く、次いで「②所有していない」82人（12.5%）となった。

また、所有していると回答した人のうち所有台数は、「1台」238人（49.6%）が最も多く、次いで「2台」231人（40.5%）、「3台」47人（8.2%）となった。

自家用車の所有	回答数	割合
①所有している	576	87.5%
②所有していない	82	12.5%
無回答	10	-
合計(無回答除く)	658	100.0%



所有台数	回答数	割合
1台	283	49.6%
2台	231	40.5%
3台	47	8.2%
4台	8	1.4%
5台	1	0.2%
6台	1	0.2%
無回答	5	-
合計(無回答除く)	571	100.0%

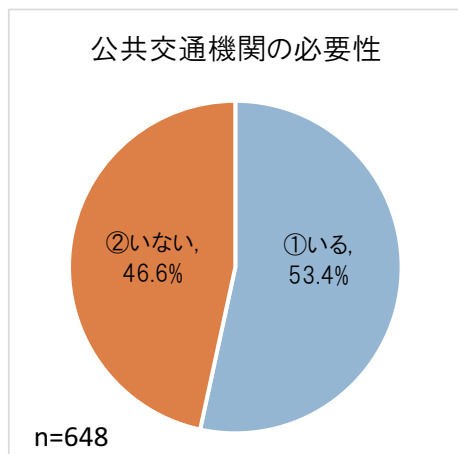


③公共交通機関の必要性

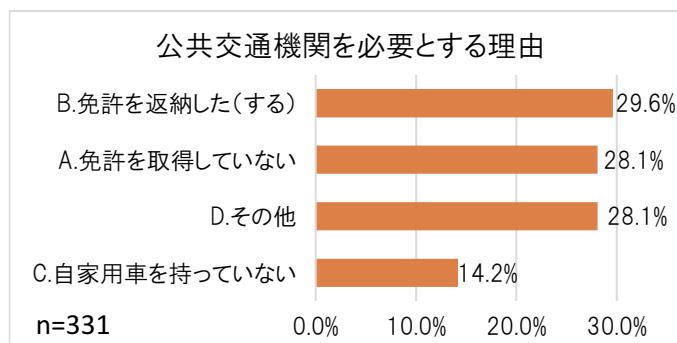
回答者の世帯に公共交通機関を必要としている人がいるかを伺った。「①いる」346人（53.4%）が最も多く、次いで「②いない」302人（46.6%）となった。

また、「①いる」を選択した人に公共交通機関を必要とする理由を伺った。「B.免許を返納した(する)」98人（29.6%）が最も多く、次いで「A.免許を取得していない」93人（28.1%）、「D.その他」93人（28.1%）となった。

公共交通機関の必要性	回答数	割合
①いる	346	53.4%
②いない	302	46.6%
無回答	20	-
合計(無回答除く)	648	100.0%



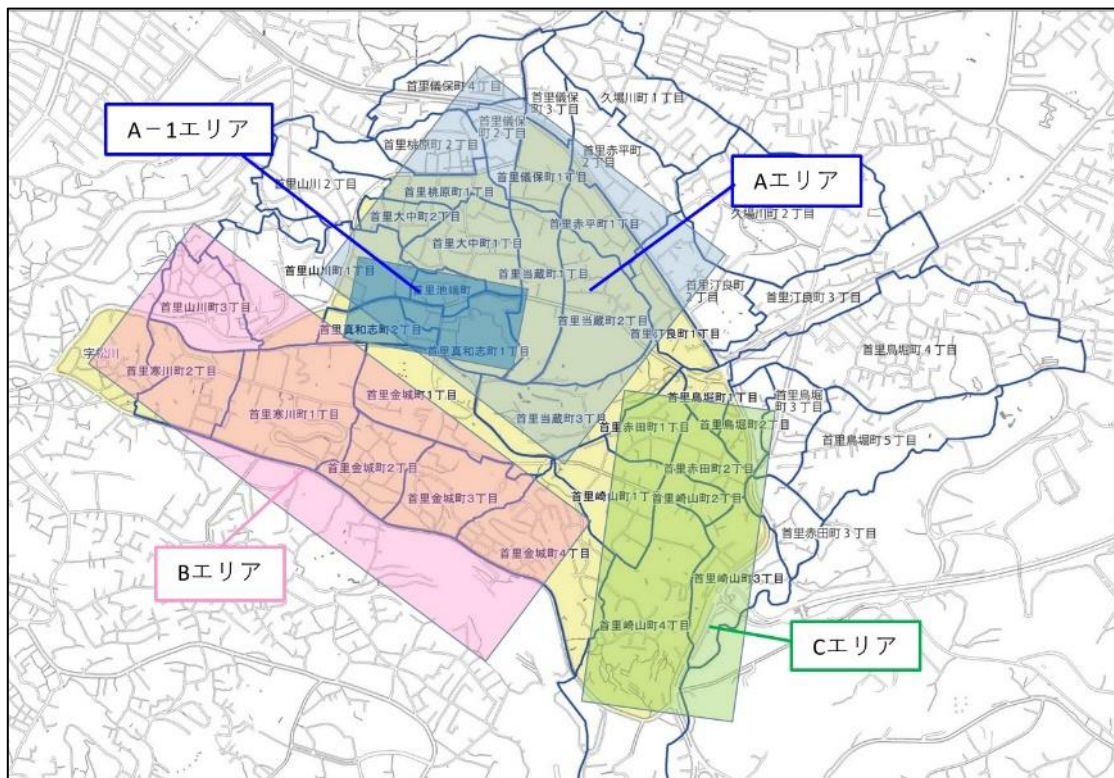
理由	回答数	割合
B.免許を返納した(する)	98	29.6%
A.免許を取得していない	93	28.1%
D.その他	93	28.1%
C.自家用車を持っていない	47	14.2%
無回答	15	-
合計(無回答除く)	331	100.0%



「D.その他」の主な内容

- ・通勤・通学のため(52 人)
 - ・用事先の駐車場が限られている(2人)
 - ・通院のため
 - ・那覇市内が混雑するため
 - ・便利なので
 - ・ペーパードライバーのため
 - ・飲酒を伴う会食への参加(2人)
 - ・健康やエコのため(2人)
 - ・駐車場が不便だから
 - ・モノレールが時間通りだから
 - ・経費節減
- など

エリア分けの考え方



居住地区の地形と、交通渋滞が起こりやすい場所を考慮し、字別に4つのエリアに区分した。

- Aエリア: 首里城公園より北と首里城公園を含んだエリア
赤平町、池端町、大中町、儀保町、汀良町、当蔵町、桃原町、真和志町、山川町
- A-1エリア: A エリアから県道 49 号線の渋滞箇所を抽出したエリア
池端町、真和志町
- Bエリア: 首里城公園の南西側の傾斜地エリア
金城町、寒川町、字松川
- Cエリア: 首里城公園の南東側の高台エリア
赤田町、崎山町、鳥堀町

④首里杜地区の交通量の感じ方

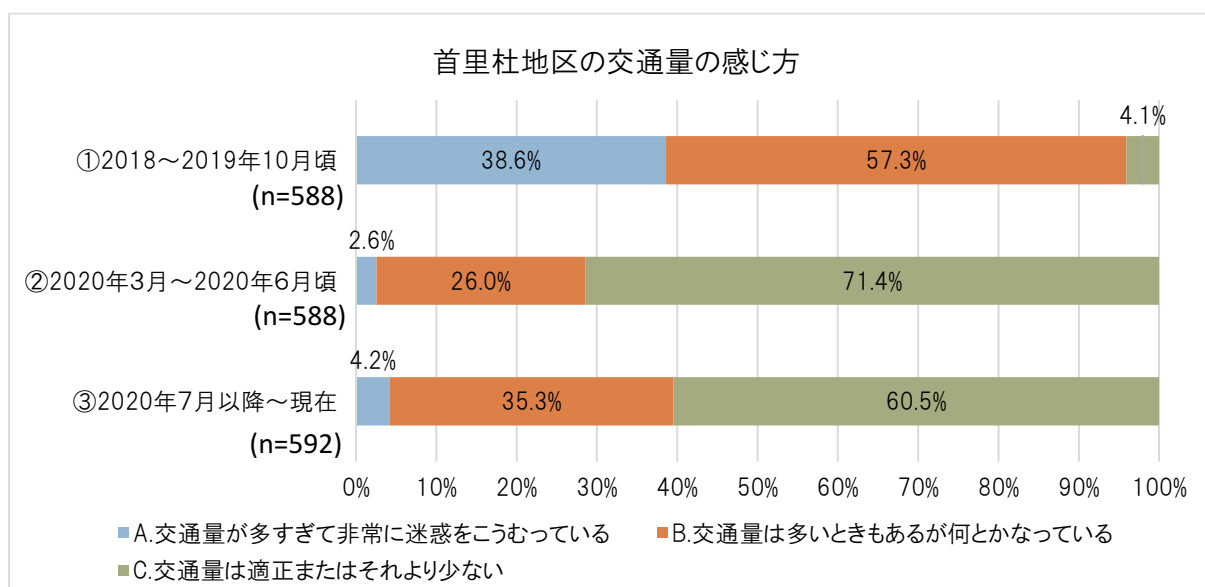
①観光客数ピーク期（2018年～2019年10月頃）、②新型コロナウイルス感染症流行による人流減少期（2020年3月～6月頃）、③社会活動が一部再開し始めた過渡期（2020年7月以降～現在）の3つの期間で、住民が首里杜地区の交通量をどう感じていたかを伺った。

①観光客数ピーク期は、「B.交通量は多いときもあるが何とかこなっている」337人（57.3%）が最も多く、次いで「A.交通量が多すぎて非常に迷惑をこうむっている」227人（38.6%）、「C.交通量は適正またはそれより少ない」24人（4.1%）となった。

②人流減少期は、「C.交通量は適正またはそれより少ない」420人（71.4%）が最も多く、次いで「B.交通量は多いときもあるが何とかこなっている」153人（26.0%）、「A.交通量が多すぎて非常に迷惑をこうむっている」15人（2.6%）となった。

③過渡期は、「C.交通量は適正またはそれより少ない」358人（60.5%）が最も多く、次いで「B.交通量は多いときもあるが何とかこなっている」209人（35.3%）、「A.交通量が多すぎて非常に迷惑をこうむっている」25人（4.2%）となった。

首里杜地区の交通量の感じ方	①2018年～2019年10月頃		②2020年3月～2020年6月頃		③2020年7月以降～現在	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
A.多すぎて非常に迷惑をこうむっている	227	38.6%	15	2.6%	25	4.2%
B.多いときもあるが何とかこなっている	337	57.3%	153	26.0%	209	35.3%
C.適正またはそれより少ない	24	4.1%	420	71.4%	358	60.5%
無回答	80		80		76	
合計(無回答除く)	588	100%	588	100%	592	100%



※期間の考え方について

①2018年～2019年10月頃:【観光客数ピーク期】首里城焼失やコロナ感染症が発生する前

②2020年3月～2020年6月頃:【人流減少期】緊急事態宣言による外出自粛、海外客の入域規制、大規模休校で、人出が大きく減少した期間

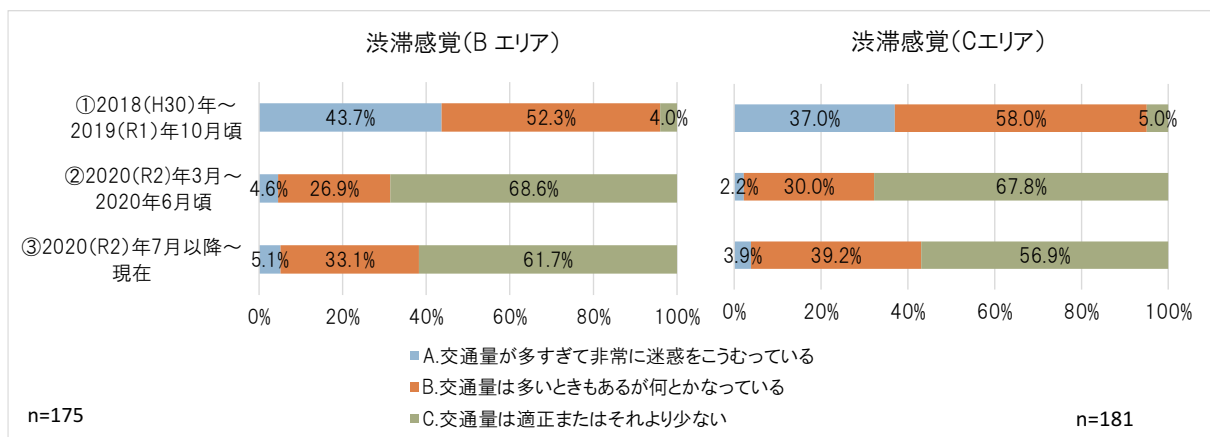
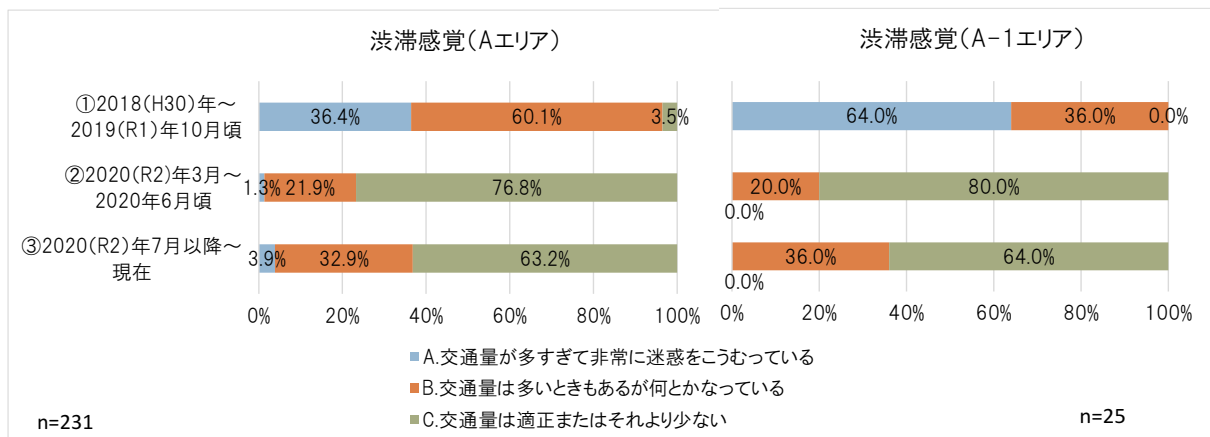
③2020年7月以降～現在:【過渡期】県民及び観光客等の社会活動が一部再開している期間

■居住地区クロス

エリアごとに見ると、①観光客ピーク期においては、県道 49 号線の渋滞箇所を抽出した A-1 エリアの「A.交通量が多すぎて非常に迷惑をこうむっている」が 16 人 (64.0%) と割合が最も高くなっている。一方で、②新型コロナ感染症流行による人流減少期、③社会活動が一部再開し始めた過渡期においては、B エリアの「A.交通量が多すぎて非常に迷惑をこうむっている」が 8 人 (4.6%)、9 人 (5.1%) と他のエリアより比較的高い結果となった。

渋滞感覚	時期	Aエリア			A-1エリア		
		①	②	③	①	②	③
A.交通量が多すぎて非常に迷惑をこうむっている	回答数	83	3	9	16	0	0
	割合	36.4%	1.3%	3.9%	64.0%	0.0%	0.0%
B.交通量は多いときもあるが何とかなっている	回答数	137	50	76	9	5	9
	割合	60.1%	21.9%	32.9%	36.0%	20.0%	36.0%
C.交通量は適正またはそれより少ない	回答数	8	175	146	0	20	16
	割合	3.5%	76.8%	63.2%	0.0%	80.0%	64.0%

渋滞感覚	時期	Bエリア			Cエリア		
		①	②	③	①	②	③
A.交通量が多すぎて非常に迷惑をこうむっている	回答数	76	8	9	67	4	7
	割合	43.7%	4.6%	5.1%	37.0%	2.2%	3.9%
B.交通量は多いときもあるが何とかなっている	回答数	91	47	58	105	54	71
	割合	52.3%	26.9%	33.1%	58.0%	30.0%	39.2%
C.交通量は適正またはそれより少ない	回答数	7	120	108	9	122	103
	割合	4.0%	68.6%	61.7%	5.0%	67.8%	56.9%



⑤首里杜地区の交通の問題

今後のまちづくりを考える上で、首里杜地区の交通について問題に感じていることを伺った。A から I の 9 項目に対し、問題に感じていることを 3 番目まで選んでもらった。さらに順位に応じて各項目の回答数に点数を付けて、全体的な傾向を分析した。

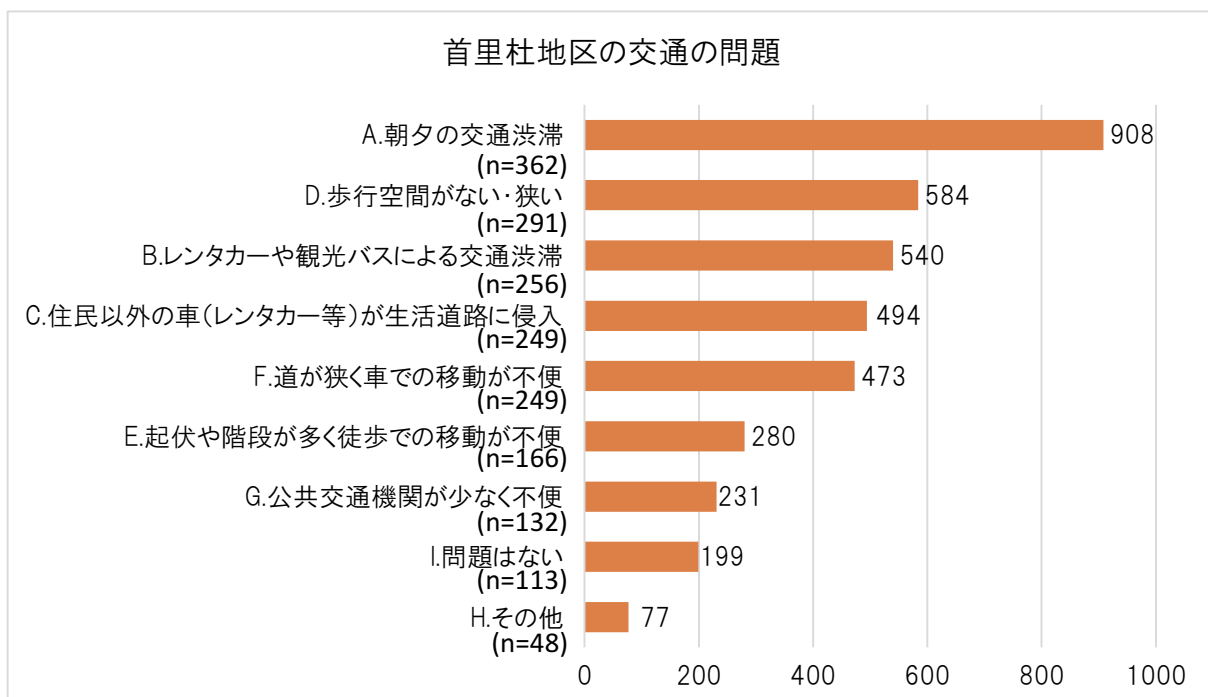
順位	点数
1番目に選ばれた項目	3点
2番目に選ばれた項目	2点
3番目に選ばれた項目	1点

最も点数が高かったのは「A.朝夕の交通渋滞」908点であり、次いで「D.歩行空間がない・狭い」584点、「B.レンタカーや観光バスによる交通渋滞」540点となった。

朝夕の通勤・通学の時間帯に集中して起こる交通渋滞と、日中が多いと想定される観光車両による交通渋滞が上位にきていることから、住民の交通渋滞への問題意識は高いと考えられる。

また、「D.歩行空間がない・狭い」、「F.道が狭く車での移動が不便」に対する回答から、道路の狭さを問題視する人も多いことがわかる。

首里杜地区の交通問題	1番目に問題(3点)		2番目に問題(2点)		3番目に問題(1点)		合計	
	回答数	点数	回答数	点数	回答数	点数	回答数	点数
A.朝夕の交通渋滞	237	711	72	144	53	53	362	908
D.歩行空間がない・狭い	91	273	111	222	89	89	291	584
B.レンタカーや観光バスによる交通渋滞	91	273	102	204	63	63	256	540
C.住民以外の車(レンタカー等)が生活道路に侵入	80	240	85	170	84	84	249	494
F.道が狭く車での移動が不便	59	177	106	212	84	84	249	473
E.起伏や階段が多く徒歩での移動が不便	31	93	52	104	83	83	166	280
G.公共交通機関が少なく不便	21	63	57	114	54	54	132	231
I.問題はない	27	81	32	64	54	54	113	199
H.その他	7	21	15	30	26	26	48	77



「H.その他」の主な内容

【交通ルール、交通安全の啓発】(6件)

- ・車の速度が速い(?)地元も含めて、運転が荒い人がある。
- ・レンタカーの車のスピードが速い
- ・①レンタカーが進入禁止道路に入り、方向変換で渋滞発生。②信号待ち停止線(消えかかっている)を超えて停止し、対向車、特に路線バスが、一度で曲がりきれない場面がよくある。(首里杜地区は、道が狭くカーブが多い為。)
- ・狭い道路で、歩行者もいるのに、スピードを出して通る車が怖い。
- ・道が狭いのに、スピードを落とさない。学校近くの道路を送迎でふさがれる。
- ・狭い道でのバス、タクシーの侵入、はみ出し

【路上駐車】(6件)

- ・狭い道に路上駐車が多い。
- ・歩道への長時間駐車
- ・違法駐車が多い
- ・学校周辺の路上駐車
- ・子供の送り迎え時に車が道にはばかり。
- ・首里高生を迎える為、長い路駐。平気で両側に停めている。

【交通環境の改善】(5件)

- ・健康面で問題になると、車の運転ができなくなると、買物等難しくなる。
- ・那覇新都心へ繋ぐ道路、坂下通り、金城ダム、環状線の三本が混雑する時がある。もう一本道路が欲しい。
- ・歩行者が通る道が、工事やその他で、デコボコが多い事。
- ・地形上、車の出入りが不便
- ・バスレーン

【道路空間の整備、管理】(1件)

- ・電柱が邪魔

【その他】(3件)

- ・小学校の通学路に歩道がない。低学年の子供達の登校時の交通量が大きく危険を覚える。歩道を設けてください。
- ・近隣にスーパー、コンビニ、コインランドリー公共施設がなく、車がないと不便。高齢比率が高い割に。
- ・アスファルトと比べて石灰石は穴もあり、杖やカートやヒールだと引っかかったりゴムの部分が痛む。アスファルト道だとホッとしています。観光客や修学旅行生が何組もぞろぞろと列をなして、その間に入って歩かざるを得なくて、苦しく思っていました。ビンやゴミ、吸い殻もあり、片付けが大変。

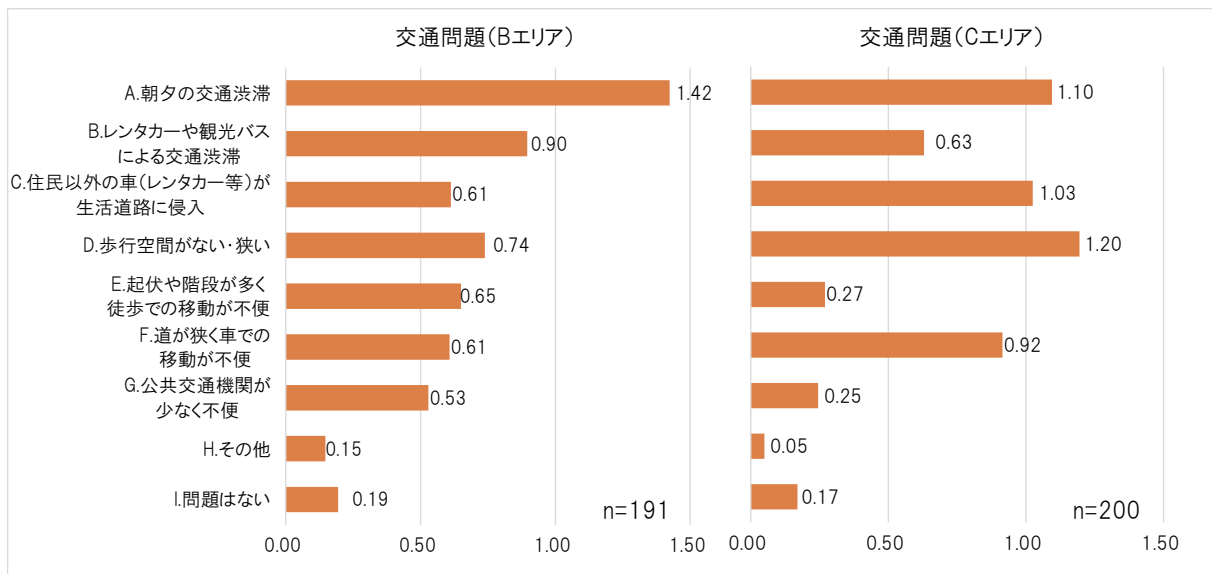
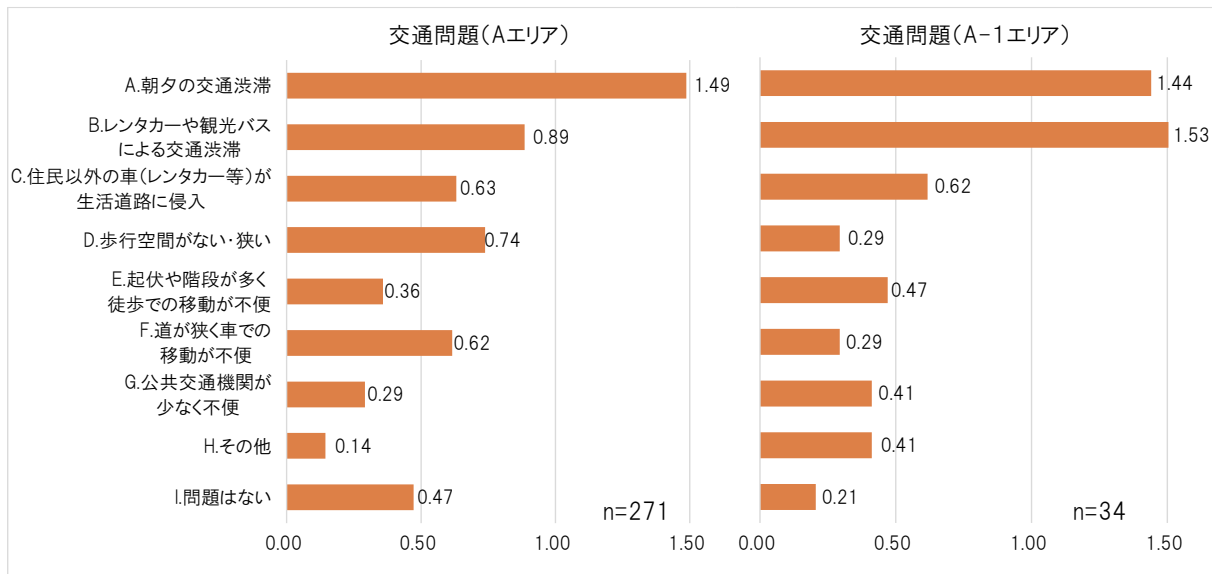
など

■居住地区クロス

各項目の点数をエリアごとの回答者数で割り、平均点を出した。

A-1 エリアでは、他のエリアと比較すると「B.レンタカーや観光バスによる交通渋滞」が高い傾向にあり、C エリアでは「C.住民以外の車（レンタカー等）が生活道路に侵入」「D.歩行空間がない・狭い」が他のエリアよりも高い傾向にある。

交通問題	Aエリア		A-1エリア		Bエリア		Cエリア	
	点数	平均点数	点数	平均点数	点数	平均点数	点数	平均点数
A.朝夕の交通渋滞	403	1.49	49	1.44	272	1.42	219	1.10
B.レンタカーや観光バスによる交通渋滞	240	0.89	52	1.53	171	0.90	126	0.63
C.住民以外の車（レンタカー等）が生活道路に侵入	171	0.63	21	0.62	117	0.61	205	1.03
D.歩行空間がない・狭い	200	0.74	10	0.29	141	0.74	239	1.20
E.起伏や階段が多く徒歩での移動が不便	97	0.36	16	0.47	124	0.65	54	0.27
F.道が狭く車での移動が不便	167	0.62	10	0.29	116	0.61	183	0.92
G.公共交通機関が少なく不便	79	0.29	14	0.41	101	0.53	49	0.25
H.その他	39	0.14	14	0.41	28	0.15	10	0.05
I.問題はない	128	0.47	7	0.21	37	0.19	34	0.17
無回答	0	-	0	-	0	-	0	-

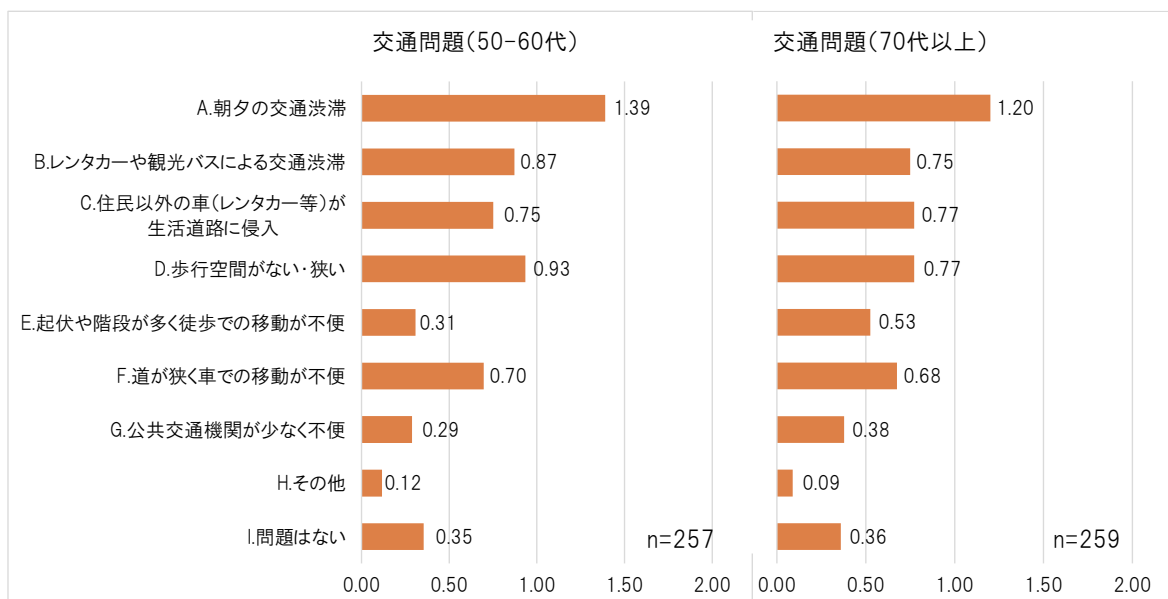
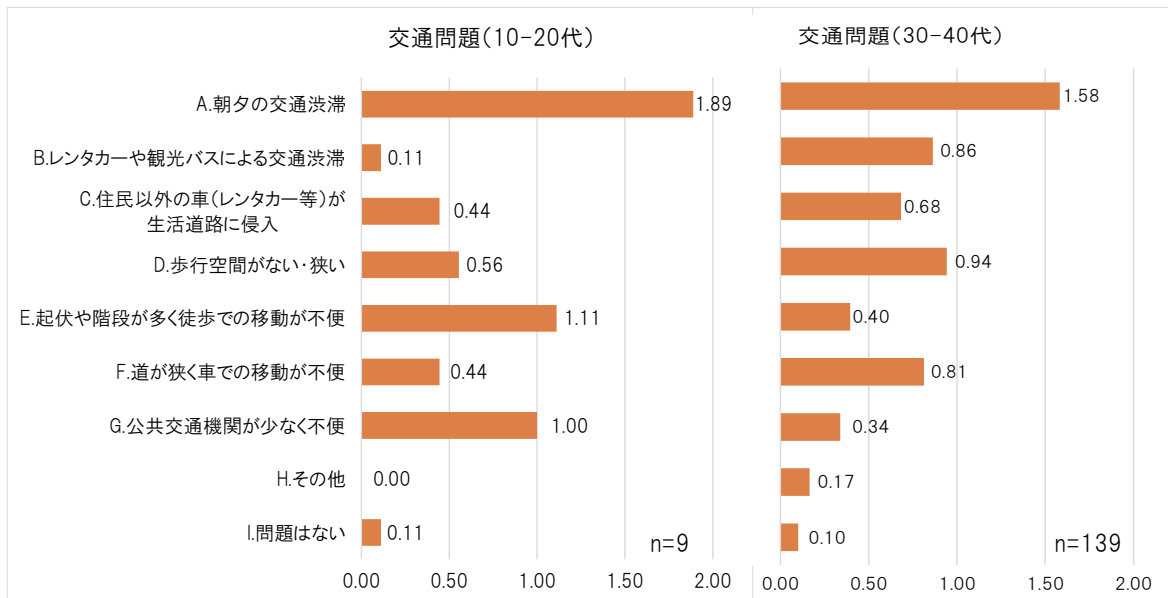


■年代クロス

回答者の年代を4つに分け、各項目の点数をそれぞれの回答者数で割って平均点を出した。

10-20代は「A.朝夕の交通渋滞」が1.88点と最も高く、「G.公共交通機関が少なく不便」においても1.00点と他の世代と比べて高い傾向にあることから、通学の際に交通問題を感じていることが考えられる。30-40代・50-60代は、「D.歩行空間がない・狭い」が0.94点、0.93点と、他の世代に比べて高く、全体的な傾向も似た結果となっている。

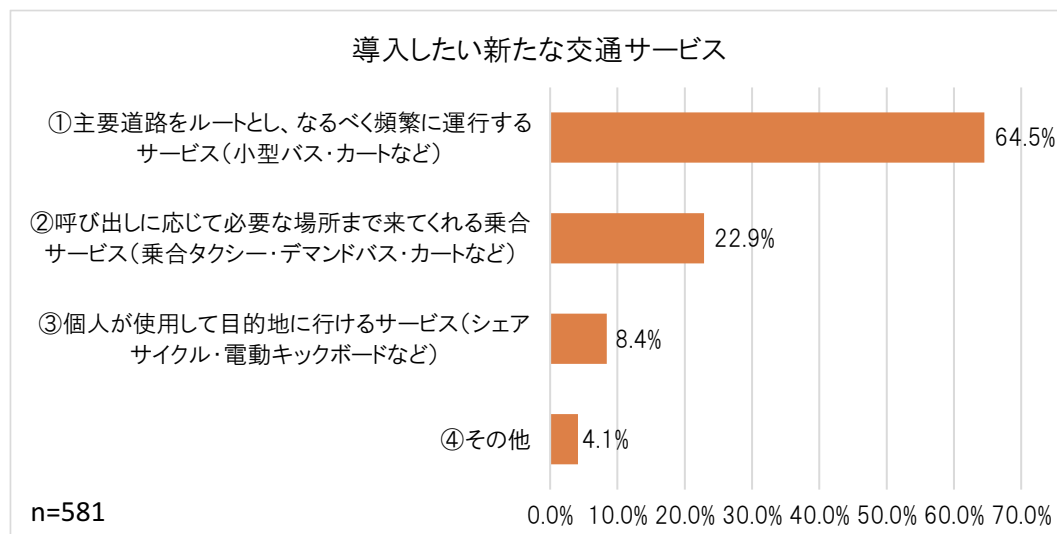
交通問題	10-20代		30-40代		50-60代		70代以上	
	点数	平均点数	点数	平均点数	点数	平均点数	点数	平均点数
A.朝夕の交通渋滞	17	1.89	220	1.58	357	1.39	311	1.20
B.レンタカーや観光バスによる交通渋滞	1	0.11	120	0.86	224	0.87	194	0.75
C.住民以外の車(レンタカー等)が生活道路に侵入	4	0.44	95	0.68	193	0.75	200	0.77
D.歩行空間がない・狭い	5	0.56	131	0.94	240	0.93	200	0.77
E.起伏や階段が多く徒歩での移動が不便	10	1.11	55	0.40	79	0.31	136	0.53
F.道が狭く車での移動が不便	4	0.44	113	0.81	179	0.70	175	0.68
G.公共交通機関が少なく不便	9	1.00	47	0.34	74	0.29	98	0.38
H.その他	0	0.00	23	0.17	30	0.12	23	0.09
I.問題はない	1	0.11	14	0.10	91	0.35	93	0.36



⑥導入したい新たなサービス

首里杜地区内で車以外の手段として新たな交通サービスを導入するならどんなものが望ましいかについて伺った（ない場合は回答不要とした）。「①主要道路をルートとし、なるべく頻繁に運行するサービス（小型バス・カートなど）」375人（64.5%）が最も多く、次いで「②呼び出しに応じて必要な場所まで来てくれる乗合サービス（乗合タクシー・デマンドバス・カートなど）」133人（22.9%）、「③個人が使用して目的地に行けるサービス（シェアサイクル・電動キックボードなど）」49人（8.4%）となった。

導入したい新たな交通サービス	回答数	割合
①主要道路をルートとし、なるべく頻繁に運行するサービス(小型バス・カートなど)	375	64.5%
②呼び出しに応じて必要な場所まで来てくれる乗合サービス(乗合タクシー・デマンドバス・カートなど)	133	22.9%
③個人が使用して目的地に行けるサービス(シェアサイクル・電動キックボードなど)	49	8.4%
④その他	24	4.1%
無回答	87	-
合計(無回答除く)	581	100.0%



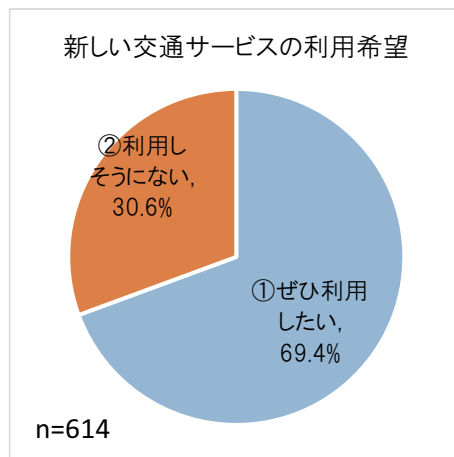
「④その他」の主な内容

- ・LRT、路面電車(7人)
- ・徒歩が良い(車両進入禁止区域の導入、アーケードの設置)(3人)
- ・小型バス等の定期路線、主要ルート以外を通る小型バス
- ・現在のバスを増便
- ・本来なら②が良いが、料金負担が大きそう。安価に済ませるなら①。
- ・①を小型電気バスでやれたらよい
- ・環境に優しい排ガス、騒音の出ない個人が移動できる小型の乗り物、電動キックボードや全自動小型車など

⑦新たな交通サービスの利用希望

全項目で示した新たな交通サービス(有料)が導入された場合、利用したいかを伺った。「①ぜひ利用したい」426人(69.4%)が最も多く、次いで「②利用しそうにない」188人(30.6%)となった。

利用希望	回答数	割合
①ぜひ利用したい	426	69.4%
②利用しそうにない	188	30.6%
無回答	54	-
合計(無回答除く)	614	100.0%



3)景観・文化のまちづくりについて

①首里で残していきたい、首里らしいと感じる場所や道すじ

首里で残していきたい、首里らしいと感じる場所や道すじについて伺った。

主な回答として、自然・地形に関することでは、緑の多い風景や大アカギ、井戸やカーの回答が多くあった。

また琉球文化に関することでは、首里城や中城御殿、玉陵、寺院、龍潭といった琉球王国に関連する施設、御嶽や拝所、スージグラー、石垣や石畳といった回答があった。

特にスージグラーと石垣、石畳については地区を示した回答もみられた。スージグラーは赤田町、崎山町、鳥堀町、当蔵町、大中町などがあげられている。石垣は崎山町、赤田町、玉那覇味噌醤油店の囲いなどがあげられている。石畳は金城町が多かった。

暮らしに関することでは、産業関連は酒造所や紅型工房、玉那覇味噌醤油店、首里劇場などの回答があった。また、赤瓦のまちなみや、崎山馬場通り、龍潭通りなど重点的に景観形成がされた場所も多くあげられた。公共施設では崎山公園、金城村屋が多く回答されていた。

主な回答:スポット(文化財、公園など)

- ・首里城 106 件
- ・石畳 184 件(うち金城町石畳 78 件)
- ・龍潭 69 件
- ・崎山公園 21 件
- ・中城御殿 14 件
- ・御茶屋御殿 12 件
- ・金城町大アカギ 10 件
- ・玉那覇味噌醤油店 9 件
- ・玉陵 7 件
- ・金城町村屋 5 件 など

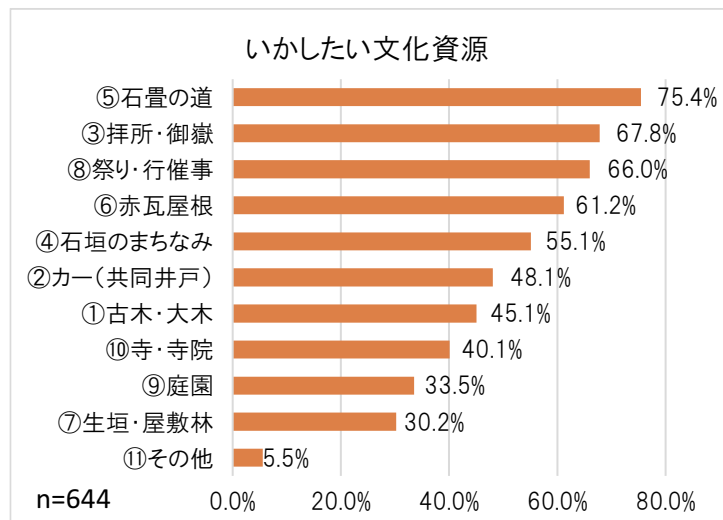
主な回答:道すじ

・岐山馬場通り 33件	・県道 29 号線(龍潭通り、当蔵通り) 21 件
・市道当蔵1号線 9件	・市道赤田寒川線(赤マルソウ通り) 9件
・ヒジガーピラ 8件	・県道 50 号線(綾門大通) 7件
・真珠道 6件	・県道 29 号線(坂下通り) 2件
・県道 28 号線(桃原本通り) 2件	・市道寒川4号線(寒川緑地) 2件
・県道 49 号線 1件	・市道赤平当蔵線 1件 など

②いかしたい文化資源(複数回答)

首里のまちにいかしていききたいと思う文化資源について伺った。「⑤石畳の道」504人(75.4%)が最も多く、次いで「③拝所・御嶽」453人(67.8%)、「⑧祭り・行催事」441人(66.0%)となった。

文化資源	回答数	割合
⑤石畳の道	504	75.4%
③拝所・御嶽	453	67.8%
⑧祭り・行催事	441	66.0%
⑥赤瓦屋根	409	61.2%
④石垣のまちなみ	368	55.1%
②カー(共同井戸)	321	48.1%
①古木・大木	301	45.1%
⑩寺・寺院	268	40.1%
⑨庭園	224	33.5%
⑦生垣・屋敷林	202	30.2%
⑪その他	37	5.5%
無回答	24	-
合計(無回答除く)	3528	-



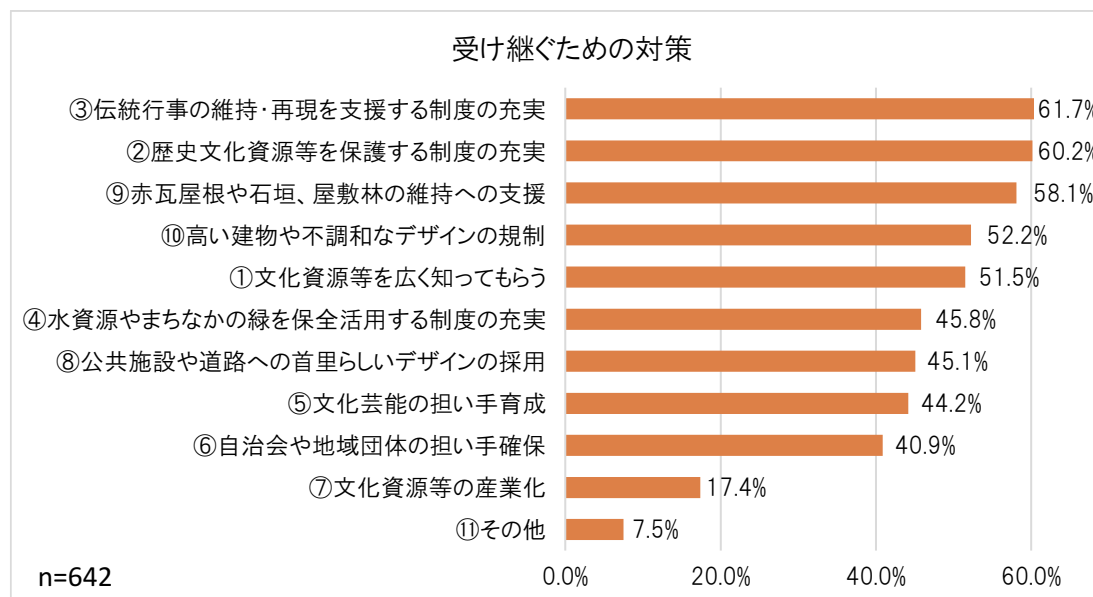
「⑪その他」の主な内容

- ・龍潭池(3人)
 - ・首里の織物(2人)
 - ・紅型工房
 - ・ウファーフル
 - ・スージ小(小路)
 - ・さがりばな
 - ・賭豚場(桃原町)
 - ・各家庭の手入れされた庭
 - ・伝統のある学校やお店等、県立芸大(3人)
 - ・屋敷跡の表示等
 - ・水辺
 - ・泡盛酒造所(2人)
 - ・空手道場(2人)
 - ・天山陵、松山御殿
 - ・伝統料理店
 - ・見えないように戦争遺産
 - ・地域の人々が日頃から楽しめる空間
 - ・中城御殿、御茶屋御殿等
 - ・首里方言
 - ・首里を大事にしてる人
 - ・染め物や金細工などの工芸
 - ・赤田や岐山に昔の家並みがあったらいい
- など

③首里らしさや文化資源を後世に受け継ぐための対策(複数回答)

首里らしさや文化資源を後世に受け継ぐために、どのような対策が必要だと思うかについて伺った。「③伝統行事の維持・再現を支援する制度の充実」412人(61.7%)が最も多く、次いで「②歴史文化資源等を保護する制度の充実」402人(60.2%)、「⑨赤瓦屋根や石垣、屋敷林の維持への支援」388人(58.1%)となった。

受け継ぐための対策	回答数	割合
③伝統行事の維持・再現を支援する制度の充実	412	61.7%
②歴史文化資源等を保護する制度の充実	402	60.2%
⑨赤瓦屋根や石垣、屋敷林の維持への支援	388	58.1%
⑩高い建物や不調和なデザインの規制	349	52.2%
①文化資源等を広く知ってもらう	344	51.5%
④水資源やまちなかの緑を保全活用する制度の充実	306	45.8%
⑧公共施設や道路への首里らしいデザインの採用	301	45.1%
⑤文化芸能の担い手育成	295	44.2%
⑥自治会や地域団体の担い手確保	273	40.9%
⑦文化資源等の産業化	116	17.4%
⑪その他	50	7.5%
無回答	26	-
合計(無回答除く)	3236	-



「⑪その他」の主な内容

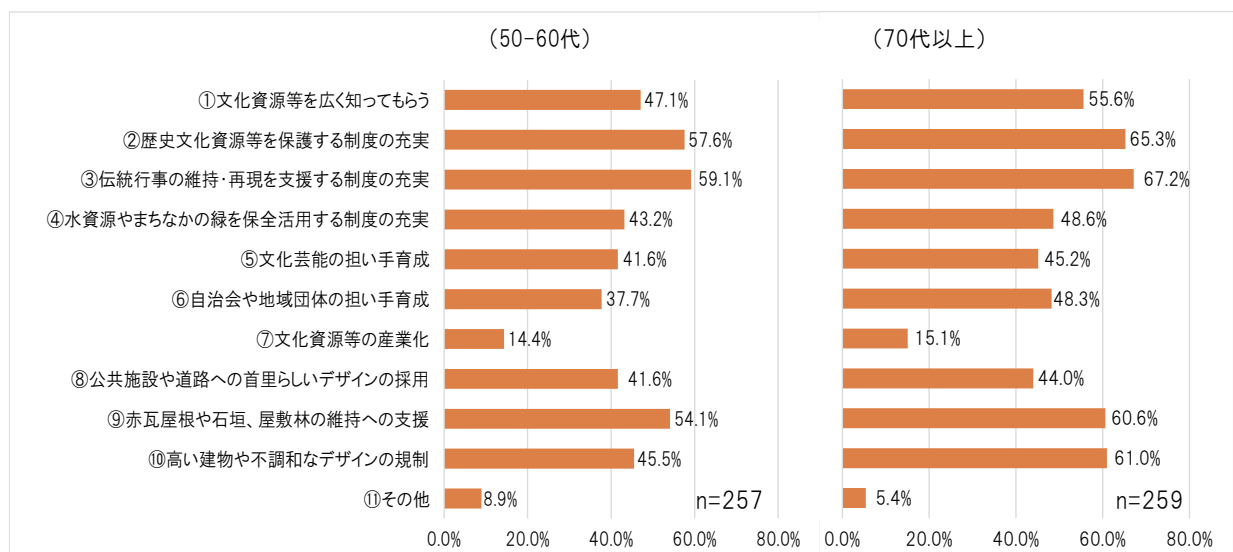
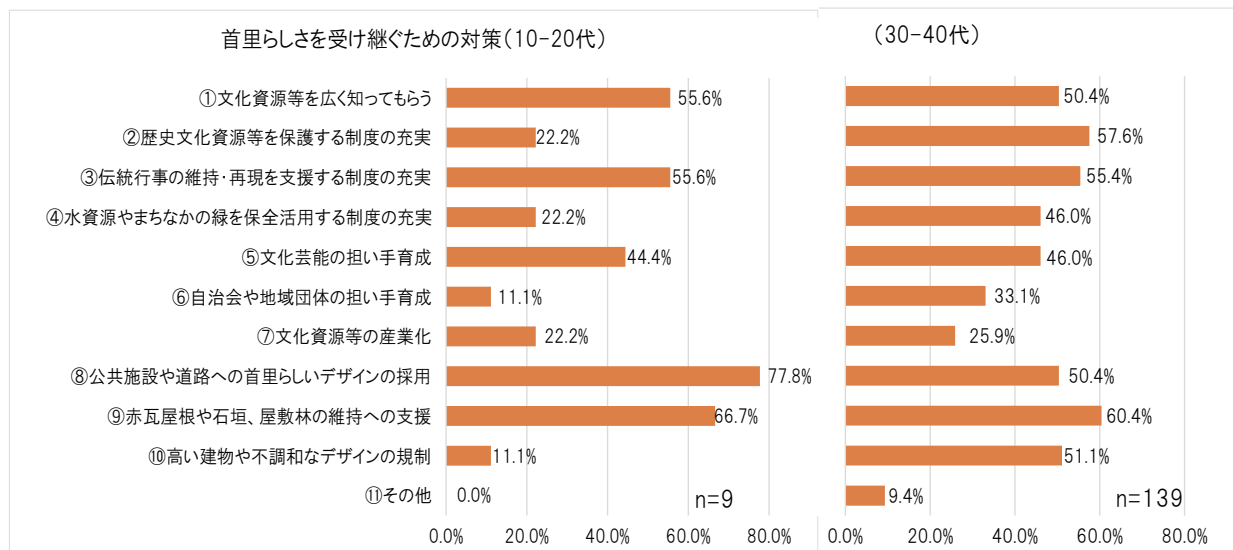
- ・無電柱化(4人)
- ・人の歩く道と車道を別々に区分する。(散歩専用)
- ・文化芸能の担い手のプロ化支援、活動の場としての劇場の整備。(3人)
- ・琉球料理、琉球舞踊、紅型、ガラス、空手、琉球漆器等が一カ所にまとめられている施設
- ・子どもたちへの教育、育成支援(2人)
- ・県立芸大と地域の繋がりにもっと力を入れてもらいたい。(2人)
- ・首里で行われている産業の後継者育成。
- ・首里劇場や泡盛工場など「近代文化」を忘れないように。
- ・松山御殿や伊江御殿の庭園など、個人で所有している文化財の維持費補修補助制度。
- ・公共施設や住民サービスの責任主体の一元化(県なのか、市なのか、財団なのか。)
- ・関連講座の開設
- ・清掃
- ・防火、防災対策

など

■年代クロス

年代ごとにみると、「⑥自治会や地域団体の担い手育成」の割合は年代が上がるにつれて高くなっている。一方で、「⑦文化資源等の産業化」については、10-40代は20%を上回っているものの、50代以上では15%程度と違いがみられる。

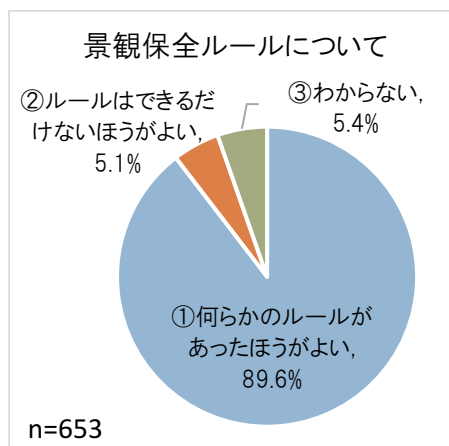
首里らしさを受け継ぐための対策	10-20代		30-40代		50-60代		70代以上	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
①文化資源等を広く知ってもらう	5	55.6%	70	50.4%	121	47.1%	144	55.6%
②歴史文化資源等を保護する制度の充実	2	22.2%	80	57.6%	148	57.6%	169	65.3%
③伝統行事の維持・再現を支援する制度の充実	5	55.6%	77	55.4%	152	59.1%	174	67.2%
④水資源やまちなかの緑を保全活用する制度の充実	2	22.2%	64	46.0%	111	43.2%	126	48.6%
⑤文化芸能の担い手育成	4	44.4%	64	46.0%	107	41.6%	117	45.2%
⑥自治会や地域団体の担い手育成	1	11.1%	46	33.1%	97	37.7%	125	48.3%
⑦文化資源等の産業化	2	22.2%	36	25.9%	37	14.4%	39	15.1%
⑧公共施設や道路への首里らしいデザインの採用	7	77.8%	70	50.4%	107	41.6%	114	44.0%
⑨赤瓦屋根や石垣、屋敷林の維持への支援	6	66.7%	84	60.4%	139	54.1%	157	60.6%
⑩高い建物や不調和なデザインの規制	1	11.1%	71	51.1%	117	45.5%	158	61.0%
⑪その他	0	0.0%	13	9.4%	23	8.9%	14	5.4%



④景観保全ルールについて

首里らしい景観を守るための、建築や開発に関するルールについてどう思うか伺った。「①何らかのルールがあったほうがよい」585人(89.6%)が最も多く、次いで「③わからない」35人(5.4%)、「②ルールはできるだけないほうがよい」33人(5.1%)となった。

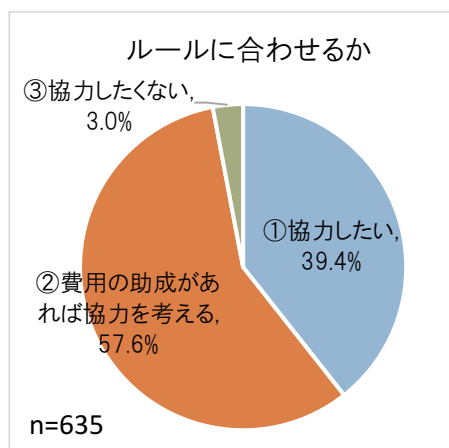
景観保全ルールについて	回答数	割合
①何らかのルールがあったほうがよい	585	89.6%
②ルールはできるだけないほうがよい	33	5.1%
③わからない	35	5.4%
無回答	15	-
合計(無回答除く)	653	100%



⑤ルールに合わせるか

首里らしい景観を守るためのルールがお住まいの地域にあったとしたら、ご自宅を改装する際にルールに合った形態に合わせようと思うかについて伺った。「②費用の助成があれば協力を考える」366人(57.6%)が最も多く、次いで「②協力したい」250人(39.4%)、「③協力したくない」19人(3.0%)となった。

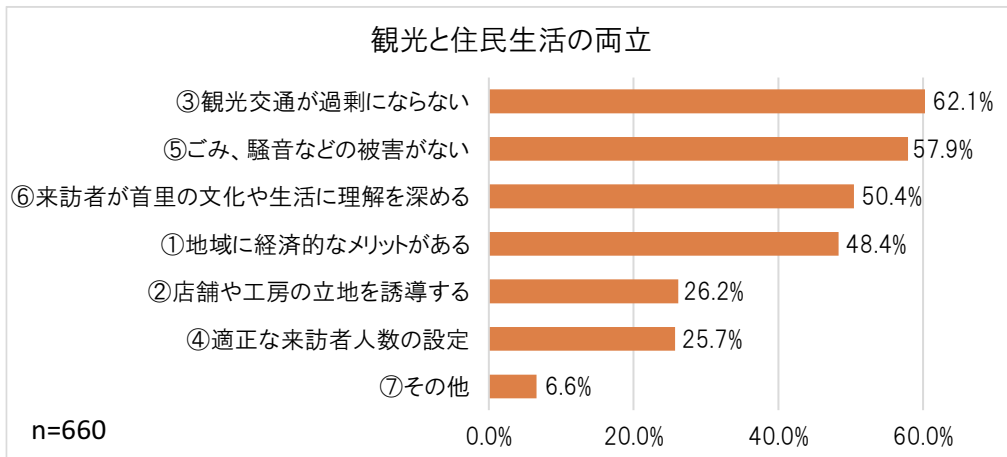
ルールに合わせるか	回答数	割合
①協力したい	250	39.4%
②費用の助成があれば協力を考える	366	57.6%
③協力したくない	19	3.0%
無回答	33	-
合計(無回答除く)	635	100%



⑥観光と住民生活の両立について(複数回答)

観光と地域住民の生活の両立のために必要だと思うことについて伺った。「③観光交通が過剰にならない」415人(62.1%)が最も多く、次いで「⑤ごみ、騒音などの被害がない」387人(57.9%)、「⑥来訪者が首里の文化や生活に理解を深める」337人(50.4%)となった。

観光と住民生活の両立	回答数	割合
③観光交通が過剰にならない	415	62.1%
⑤ごみ、騒音などの被害がない	387	57.9%
⑥来訪者が首里の文化や生活に理解を深める	337	50.4%
①地域に経済的なメリットがある	323	48.4%
②店舗や工房の立地を誘導する	175	26.2%
④適正な来訪者人数の設定	172	25.7%
⑦その他	44	6.6%
無回答	8	-



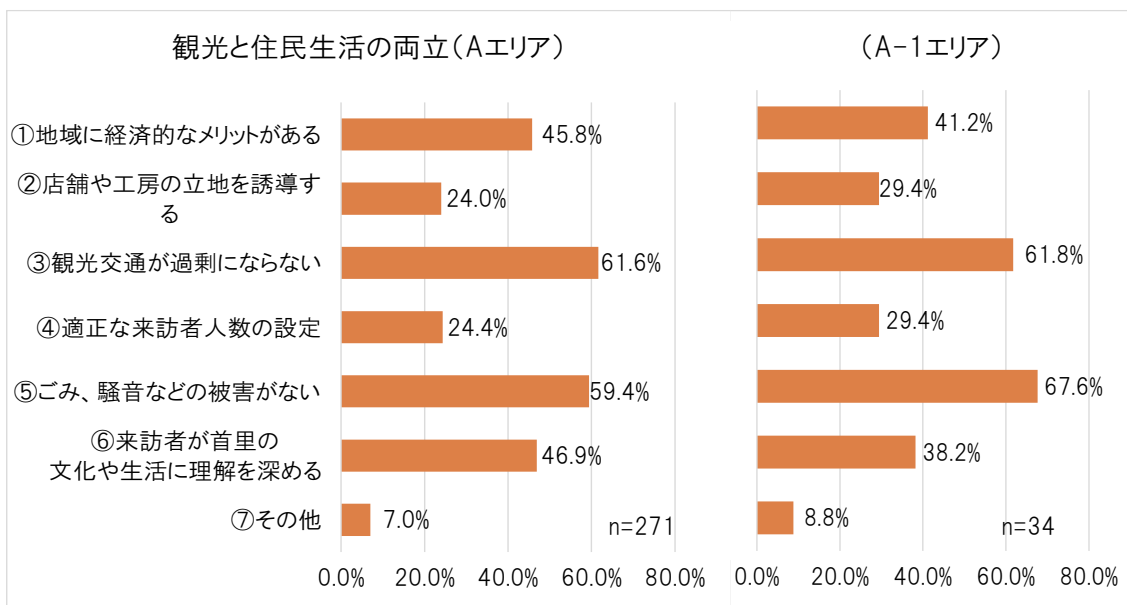
「⑦その他」の主な内容

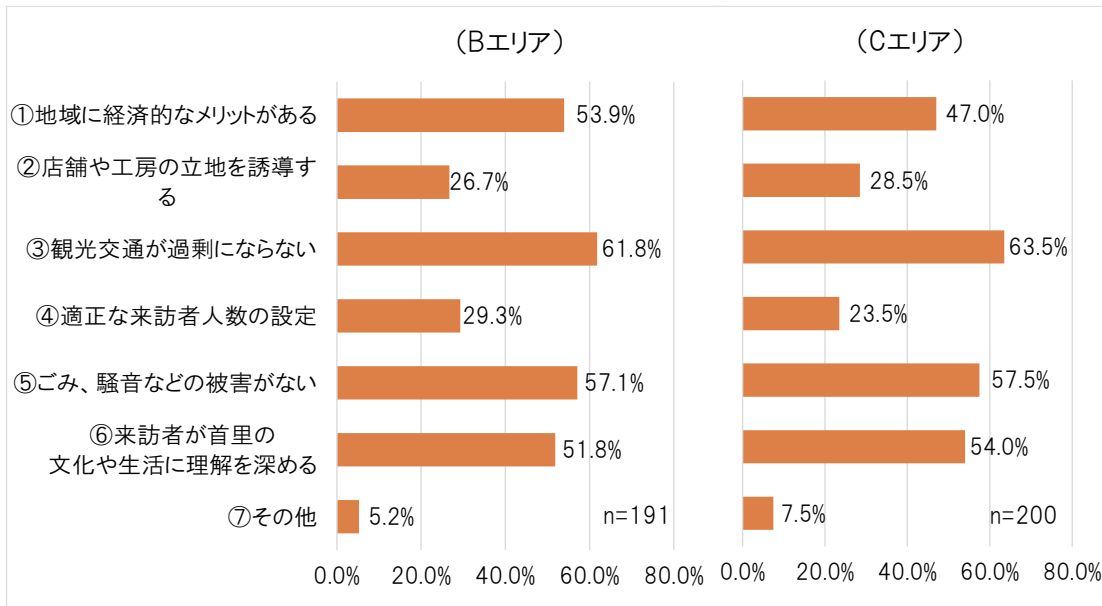
- ・歩いて観光するスタイルの確立(5人)
- ・住民意識の向上(3人)
- ・車両規制(2人)
- ・子供の安全確保(2人)
- ・観光と住民生活のエリア分け・ごみの持ち帰りなど管理体制
- ・地元割引(観光客相手の料金設定のため利用しづらい)

■居住地区クロス(暫定版)

エリアごとにみると、A-1 エリアでは「⑤ごみ、騒音などの被害がない」が 67.6%と最も高い一方で、「⑥来訪者が首里の文化や生活に理解を深める」は 38.2%と他のエリアより比較的低い傾向にある。

観光と生活の両立	Aエリア		A-1エリア		Bエリア		Cエリア	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
①地域に経済的なメリットがある	124	45.8%	14	41.2%	103	53.9%	94	47.0%
②店舗や工房の立地を誘導する	65	24.0%	10	29.4%	51	26.7%	57	28.5%
③観光交通が過剰にならない	167	61.6%	21	61.8%	118	61.8%	127	63.5%
④適正な来訪者人数の設定	66	24.4%	10	29.4%	56	29.3%	47	23.5%
⑤ごみ、騒音などの被害がない	161	59.4%	23	67.6%	109	57.1%	115	57.5%
⑥来訪者が首里の文化や生活に理解を深める	127	46.9%	13	38.2%	99	51.8%	108	54.0%
⑦その他	19	7.0%	3	8.8%	10	5.2%	15	7.5%



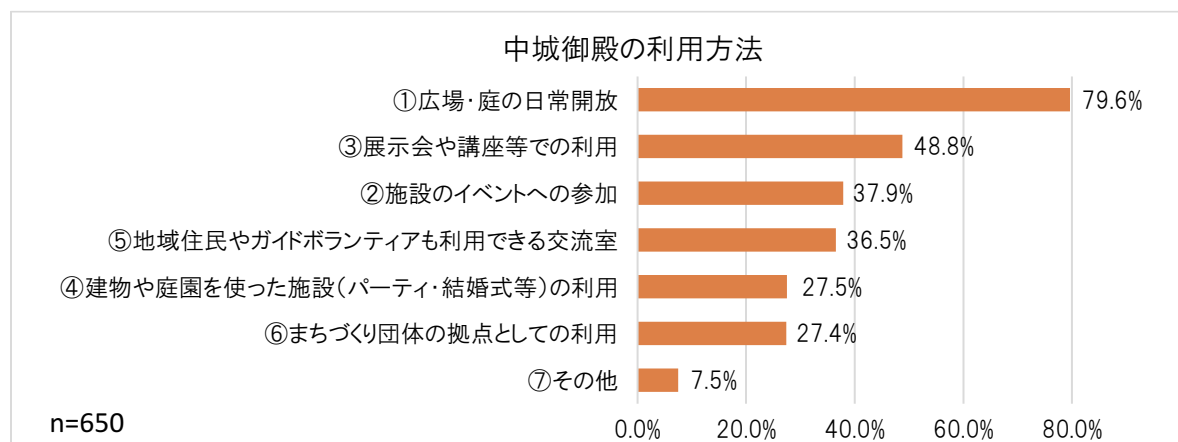


4)首里公園整備について

①中城御殿の利用方法

中城御殿を地域に開かれた施設とする場合、どのような場所として利用したいかについて伺った。「①広場・庭の日常開放」532人(79.6%)が最も多く、次いで「③展示会や講座等での利用」326人(48.8%)、「②施設のイベントへの参加」253人(37.9%)となった。

中城御殿の利用方法	回答数	割合
①広場・庭の日常開放	532	79.6%
③展示会や講座等での利用	326	48.8%
②施設のイベントへの参加	253	37.9%
⑤地域住民やガイドボランティアも利用できる交流室	244	36.5%
④建物や庭園を使った施設(パーティ・結婚式等)の利用	184	27.5%
⑥まちづくり団体の拠点としての利用	183	27.4%
⑦その他	50	7.5%
無回答	18	-
合計(無回答除く)	1772	-



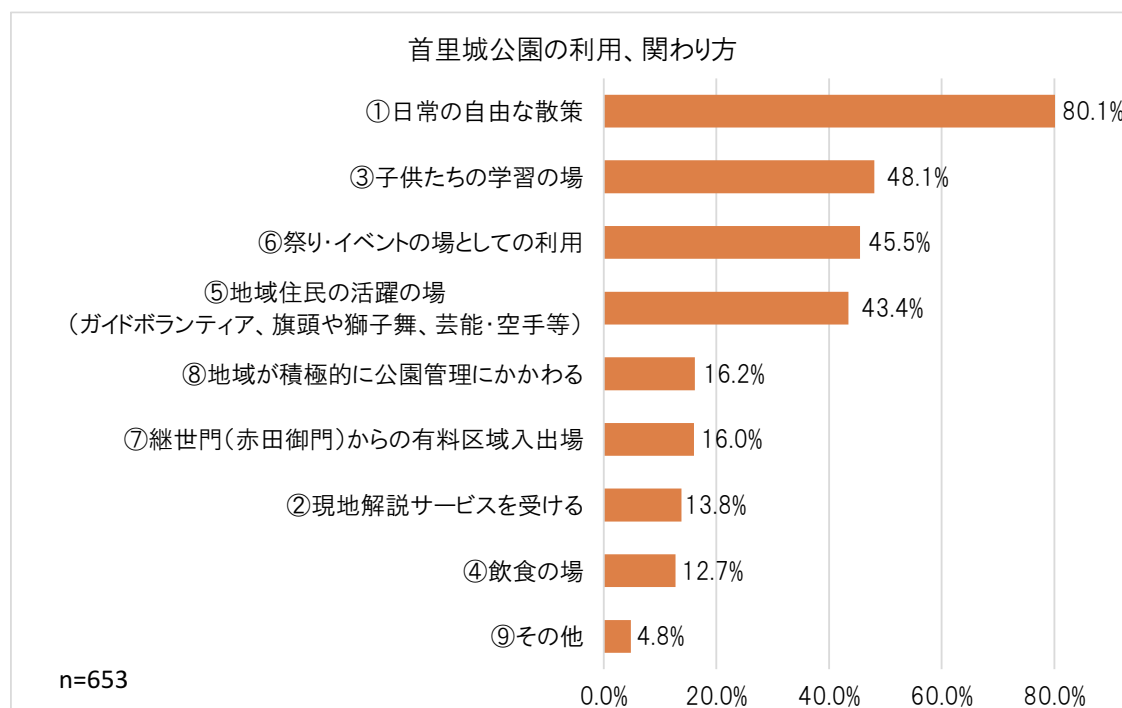
「⑦その他」の主な内容

- ・子供の遊べる場所、住民の憩いの場(8人)
- ・自習室、コワーキングスペース(2人)
- ・県や市の博物館として整備(3人)
- ・王族の生活がわかる施設、イベント(3人)
- ・旗頭や地域の伝統芸能、演奏会等ができるイベント広場(3人)
- ・カフェ
- ・県内作家の工芸品展示、販売
- ・ライトアップ
- など

②首里城公園の利活用(複数回答)

首里城公園(龍潭や上の毛、玉陵等も含む)を今後さらに活用するとして、どんな関わり方がしたいかについて伺った。「①日常の自由な散策」535人(80.1%)が最も多く、次いで「③子どもたちの学習の場」321人(48.1%)、「⑥祭り・イベントの場としての利用」304人(45.5%)となった。

首里城公園の利用、関わり方	回答数	割合
①日常の自由な散策	535	80.1%
③子供たちの学習の場	321	48.1%
⑥祭り・イベントの場としての利用	304	45.5%
⑤地域住民の活躍の場 (ガイドボランティア、旗頭や獅子舞、芸能・空手等)	290	43.4%
⑧地域が積極的に公園管理にかかわる	108	16.2%
⑦継世門(赤田御門)からの有料区域入出場	107	16.0%
②現地解説サービスを受ける	92	13.8%
④飲食の場	85	12.7%
⑨その他	32	4.8%
無回答	15	-
合計(無回答除く)	1874	-



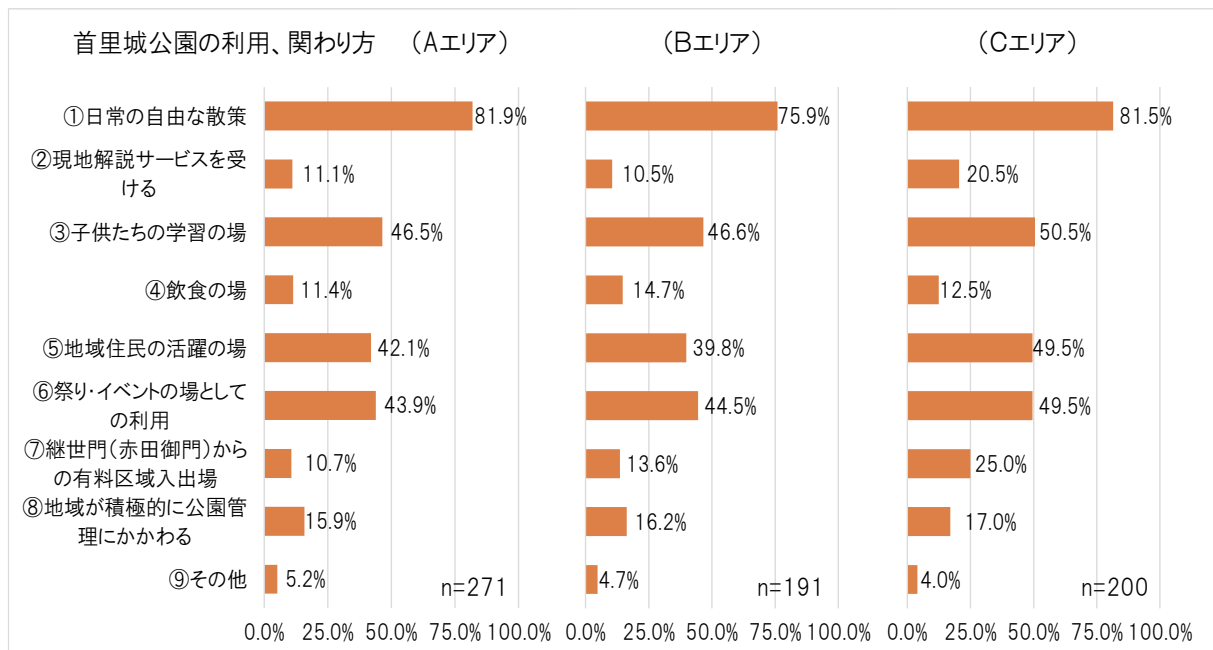
「⑨その他」の主な内容

- ・龍潭池での釣り(3人)
- ・地元地域住民の無料化(2人)
- ・身障者用公衆トイレ、AED の設置
- ・子供たちの遊び場、広場
- ・季節の花木を植える
- ・本格的な琉球料理の提供(2人)
- ・清掃活動への参加(2人)
- ・八月十五夜に各町のお披露目会
- ・謎解きのようなイベントで首里の歴史に触れて欲しい
- ・朝市(特産品野菜等)など、イベントを企画して欲しいなど

■居住地区クロス

エリアごとにみると、Cエリアでは「②現地解説サービスを受ける」が20.5%、「⑦継世門(赤田御門)からの有料区域入出場」が25.0%と他のエリアと比較して高い傾向にある。

首里城公園の利用、関わり方	Aエリア		Bエリア		Cエリア	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
①日常の自由な散策	222	81.9%	145	75.9%	163	81.5%
②現地解説サービスを受ける	30	11.1%	20	10.5%	41	20.5%
③子供たちの学習の場	126	46.5%	89	46.6%	101	50.5%
④飲食の場	31	11.4%	28	14.7%	25	12.5%
⑤地域住民の活躍の場	114	42.1%	76	39.8%	99	49.5%
⑥祭り・イベントの場としての利用	119	43.9%	85	44.5%	99	49.5%
⑦継世門(赤田御門)からの有料区域入出場	29	10.7%	26	13.6%	50	25.0%
⑧地域が積極的に公園管理にかかわる	43	15.9%	31	16.2%	34	17.0%
⑨その他	14	5.2%	9	4.7%	8	4.0%



2. 学校保護者アンケート結果

(1)調査概要

住民アンケートと並行し、首里杜地区内の学校に通う児童生徒の保護者を対象に、首里杜地区内の交通に関するアンケートを実施した。

調査概要

対象校	城西小学校、城南こども園、城南小学校、首里中学校(4校)
調査期間	令和3年 10月 18日～27日
回収数	366件
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 学校やPTAに協力いただき、学内グループウェアやメールリストによる調査依頼、及びWebによる回収を行った。一部、調査票による回収も行った。 回答者の対象は保護者とした。

(2)調査結果の詳細

1)基本的なことについて

①住んでいる地区

回答者の住んでいる地区は下表のとおりとなった。

住んでいる地域	1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目	丁目なし	合計 (無回答除く)	校区
	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	
①赤田	6	6	1	0	0	0	13	南
②赤平	2	3	0	0	0	0	5	他
③池端	0	0	0	0	0	1	1	西
④大中	3	2	0	0	0	0	5	西
⑤金城	4	7	3	23	0	0	37	※
⑥儀保	5	0	1	3	0	0	9	他
⑦崎山	16	4	18	27	0	0	65	南
⑧寒川	15	5	0	0	0	0	20	西
⑨汀良	6	8	6	0	0	0	20	西
⑩当蔵	9	15	1	0	0	0	25	西
⑪桃原	7	3	0	0	0	0	10	西
⑫鳥堀	3	16	15	40	21	0	95	南
⑬松川	0	0	2	0	0	2	4	西
⑭真和志	0	1	0	0	0	0	1	西
⑮山川	16	4	12	0	0	0	32	西
⑯その他	8	12	1	0	0	3	24	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	

校区:「西」城西こども園・城西小学校(132件)、「南」城南こども園・城南小学校(173件)、「外」その他学校区(38件)。

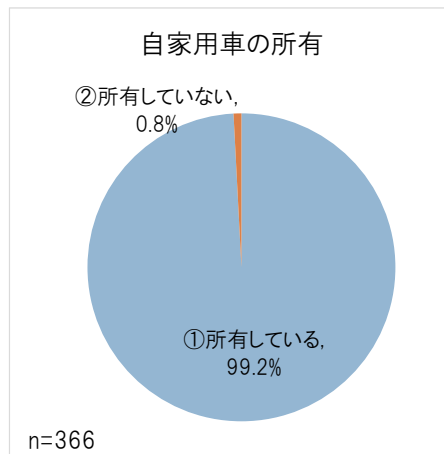
※金城町1～3丁目:城西小学校区、金城町4丁目:城南小学校区

②自家用車の所有

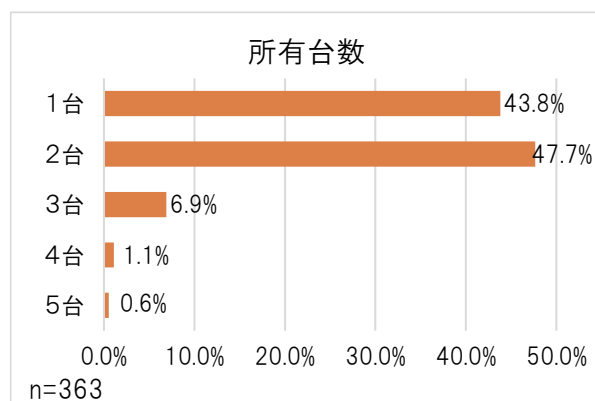
自家用車の所有は、「①所有している」363人（99.2%）が最も多く、次いで「②所有していない」3人（0.8%）となった。

「①所有している」を選択した人には、所有台数についても伺った。「2台」173人（47.7%）が最も多く、次いで「1台」159人（43.8%）、「3台」25人（6.9%）となった。

自家用車の所有	回答数	割合
①所有している	363	99.2%
②所有していない	3	0.8%
無回答	0	-
合計(無回答除く)	366	100.0%



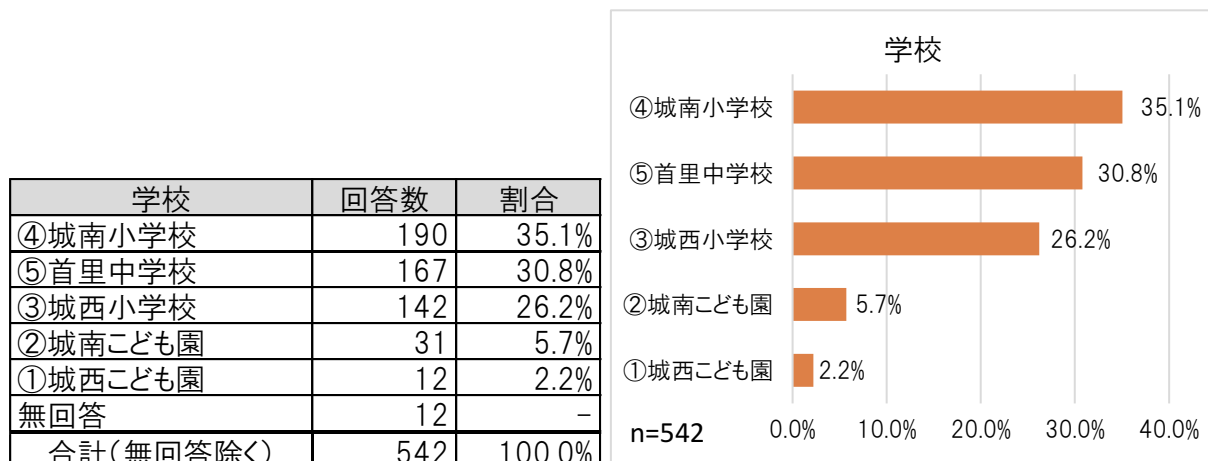
所有台数	回答数	割合
1台	159	43.8%
2台	173	47.7%
3台	25	6.9%
4台	4	1.1%
5台	2	0.6%
無回答	0	-
合計(無回答除く)	363	100.0%



2)交通について

①子どもの通う学校

子どもがどこの学校に通っているかについて伺った。なお、回答者1人につき最大2人分までを回答できることとした。「④城南小学校」190人（35.1%）が最も多く、次いで「⑤首里中学校」167人（30.8%）、「③城西小学校」142人（26.2%）となった。

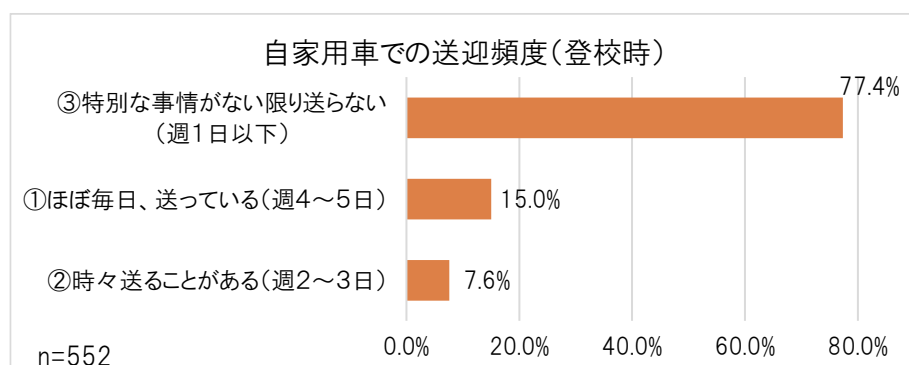


学校	回答数	割合
④城南小学校	190	35.1%
⑤首里中学校	167	30.8%
③城西小学校	142	26.2%
②城南こども園	31	5.7%
①城西こども園	12	2.2%
無回答	12	-
合計(無回答除く)	542	100.0%

②登校時の自家用車での送迎頻度

登校時に自家用車で送迎する頻度について伺った。なお、回答者1人につき最大2人分までを回答できることとした。「③特別な事情がない限り送らない(週1日以下)」427人(77.4%)が最も多く、次いで「①ほぼ毎日、送っている(週4~5日)」83人(15.0%)、「②時々送ることがある(週2~3日)」42人(7.6%)となった。全体のうち125人(22.6%)が、週の半分以上を登校時に自家用車で送迎している。

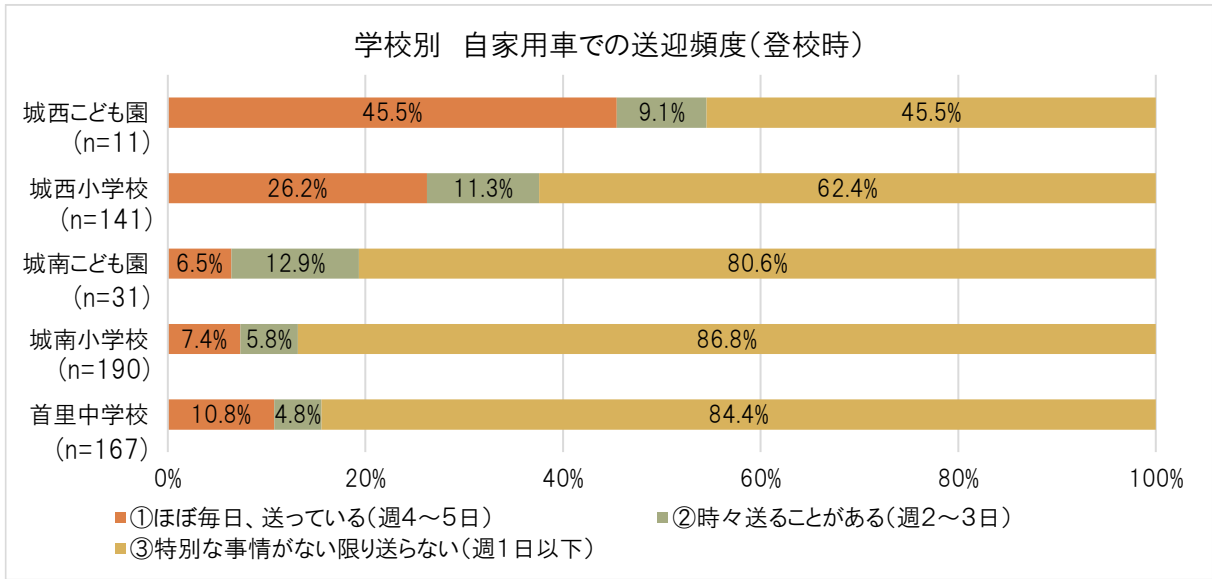
自家用車での送迎頻度(登校時)	回答数	割合
③特別な事情がない限り送らない(週1日以下)	427	77.4%
①ほぼ毎日、送っている(週4~5日)	83	15.0%
②時々送ることがある(週2~3日)	42	7.6%
無回答	2	-
合計(無回答除く)	552	100.0%



■学校クロス

学校ごとに見ると、こども園では城西こども園、小学校では城西小学校が、「①ほぼ毎日、送っている(週4~5日)」の割合が高くなっている。両校は校区が学校を頂点に南北に広がっており、高低差のある地形になっているため、自家用車での送迎が多くなっていると推察できる。

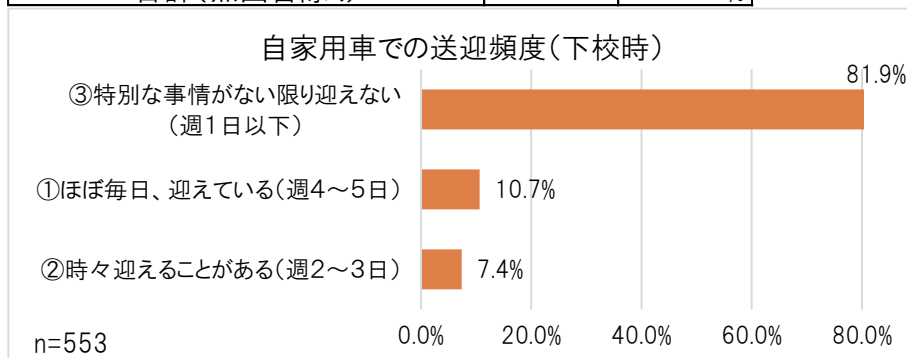
自家用車での送迎頻度(登校時)	城西こども園		城西小学校		城南こども園		城南小学校		首里中学校	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
①ほぼ毎日、送っている(週4~5日)	5	45.5%	37	26.2%	2	6.5%	14	7.4%	18	10.8%
②時々送ることがある(週2~3日)	1	9.1%	16	11.3%	4	12.9%	11	5.8%	8	4.8%
③特別な事情がない限り送らない(週1日以下)	5	45.5%	88	62.4%	25	80.6%	165	86.8%	141	84.4%
無回答	1	-	1	-	0	-	0	-	0	-
合計(無回答含まず)	11	100.0%	141	100.0%	31	100.0%	190	100.0%	167	100.0%



③下校時の自家用車での送迎頻度

下校時に自家用車で送迎する頻度について伺った。なお、回答者1人につき最大2人分までを回答できることとした。「③特別な事情がない限り迎えない(週1日以下)」453人(81.9%)が最も多く、次いで「①ほぼ毎日、迎えている(週4～5日)」59人(10.7%)、「②時々迎えることがある(週2～3日)」41人(7.4%)となった。全体のうち100人(18.1%)が、週の半分以上を下校時に自家用車で送迎している。

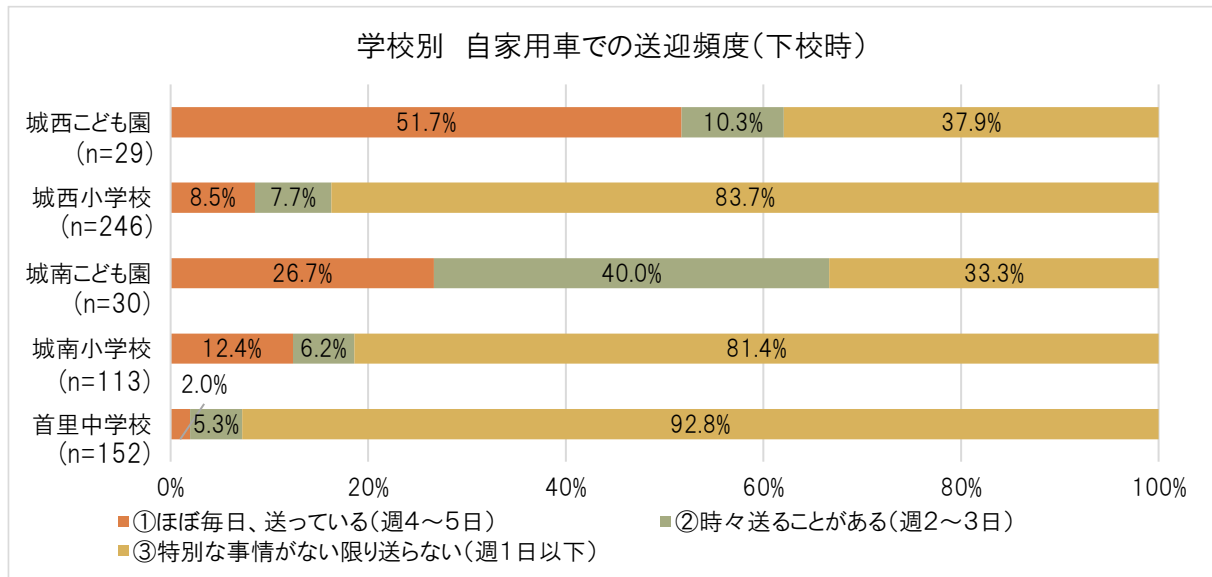
自家用車での送迎頻度(下校時)	回答数	割合
③特別な事情がない限り迎えない(週1日以下)	453	81.9%
①ほぼ毎日、迎えている(週4～5日)	59	10.7%
②時々迎えることがある(週2～3日)	41	7.4%
無回答	0	-
合計(無回答除く)	553	100.0%



■学校クロス

学校ごとに見ると、「①ほぼ毎日、迎えている（週4～5日）」の割合が城西こども園は51.7%、次いで城南こども園は26.7%と高くなっている。

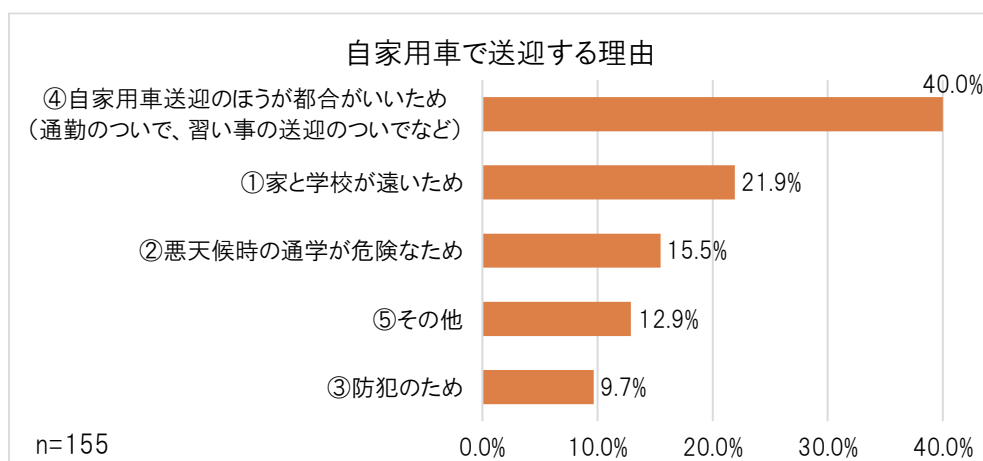
自家用車での送迎頻度 (登校時)	城西こども園		城西小学校		城南こども園		城南小学校		首里中学校	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
①ほぼ毎日、送っている (週4～5日)	15	51.7%	21	8.5%	8	26.7%	14	12.4%	3	2.0%
②時々送ることがある(週 2～3日)	3	10.3%	19	7.7%	12	40.0%	7	6.2%	8	5.3%
③特別な事情がない限り 送らない(週1日以下)	11	37.9%	206	83.7%	10	33.3%	92	81.4%	141	92.8%
無回答	0	-	1	-	0	-	0	-	0	-
合計(無回答含まず)	29	100.0%	246	100.0%	30	100.0%	113	100.0%	152	100.0%



④自家用車送迎の理由

登下校時に自家用車で送迎する理由について伺った。なお、回答者1人につき最大2人分までを回答できることとした。「④自家用車送迎のほうが都合が良かったため」62人(40.0%)が最も多く、次いで「①家と学校が遠いため」34人(21.9%)、「②悪天候時の通学が危険なため」24人(15.5%)となった。

自家用車で送迎する理由	回答数	割合
④自家用車送迎のほうが都合が良かったため (通勤のついで、習い事の送迎のついでなど)	62	40.0%
①家と学校が遠いため	34	21.9%
②悪天候時の通学が危険なため	24	15.5%
⑤その他	20	12.9%
③防犯のため	15	9.7%
無回答	21	-
合計(無回答除く)	155	100.0%



「⑤その他」の主な内容

- ・選択肢①～④の複合的な理由(4人)
- ・学童に迎えるため(3人)
- ・子どもの健康上の理由(3人)
- ・他の兄弟姉妹を送迎するついで(2人)
- ・時間がないため(2人)
- ・子どもとのコミュニケーションの時間として(1人) など

⑤首里杜地区の交通量の感じ方

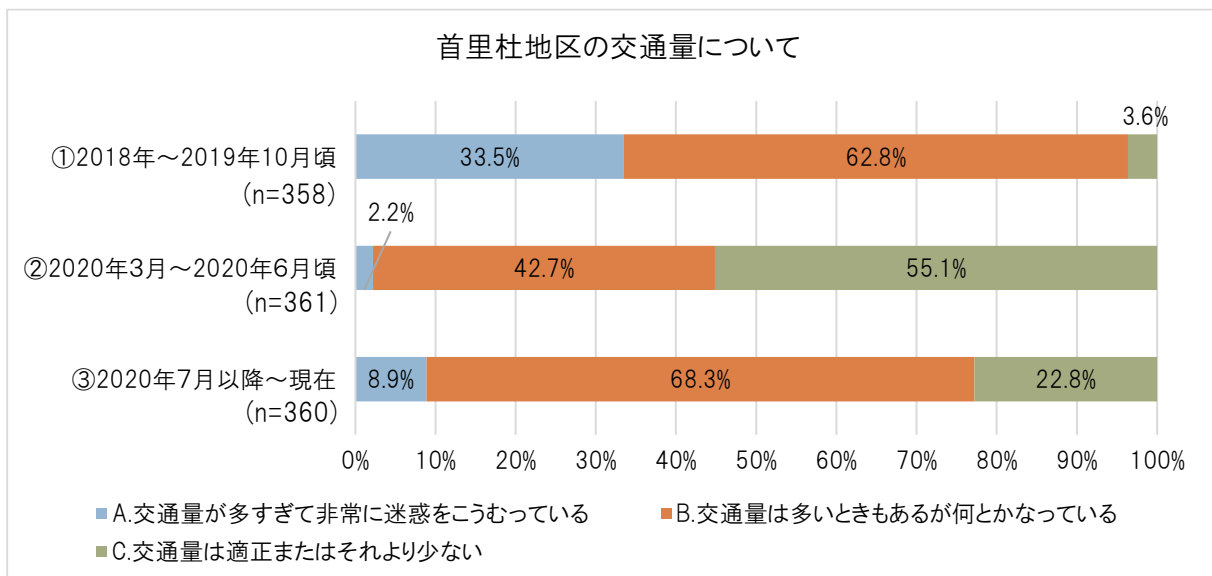
①観光客数ピーク期(2018年～2019年10月頃)、②新型コロナ感染症流行による人流減少期(2020年3月～6月頃)、③社会活動が一部再開し始めた過渡期(2020年7月以降～現在)の3つの期間で、住民が首里杜地区の交通量をどう感じていたかを伺った。

①観光客数ピーク期は、「B.交通量は多いときもあるが何とかなっている」225人(62.8%)が最も多く、次いで「A.交通量が多すぎて非常に迷惑をこうむっている」120人(33.5%)、「C.交通量は適正またはそれより少ない」13人(3.6%)となった。AとBをあわせると345人(96.4%)が、首里杜地区の交通量が多いと感じている。

②人流減少期は、「C.交通量は適正またはそれより少ない」199人(55.1%)が最も多く、次いで「B.交通量は多いときもあるが何とかなっている」154人(42.7%)、「A.交通量が多すぎて非常に迷惑をこうむっている」8人(2.2%)となった。①観光客数ピーク期と比べ、「C.交通量が適正または少ない」と感じる人が大きく増えている。一方、「B.交通量は多いときもあるが何とかなっている」も①観光客数ピーク期と比べると減ったが、それでも選択した人は40%程度いる。

③過渡期は、「B.交通量は多いときもあるが何とかなっている」246人(68.3%)が最も多く、次いで「C.交通量は適正またはそれより少ない」82人(22.8%)、「A.交通量が多すぎて非常に迷惑をこうむっている」32人(8.9%)となった。学校や企業活動、観光が再開されたことで、①観光客数ピーク期ほどではないが徐々に交通量が増えつつあると感じていると推測できる。

首里杜地区の交通量について	①2018年～2019年10月頃		②2020年3月～2020年6月頃		③2020年7月以降～現在	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
A.交通量が多すぎて非常に迷惑をこうむっている	120	33.5%	8	2.2%	32	8.9%
B.交通量は多いときもあるが何とかなっている	225	62.8%	154	42.7%	246	68.3%
C.交通量は適正またはそれより少ない	13	3.6%	199	55.1%	82	22.8%
無回答	8	-	5	-	6	-
合計(無回答除く)	358	100.0%	361	100.0%	360	100.0%



※期間の考え方について

①2018年～2019年10月頃:【観光客数ピーク期】首里城焼失やコロナ感染症が発生する前

②2020年3月～2020年6月頃:【人流減少期】緊急事態宣言による外出自粛、海外客の入域規制、大規模休校で、人出が大きく減少した期間

③2020年7月以降～現在:【過渡期】県民及び観光客等の社会活動が一部再開している期間

■居住地区クロス

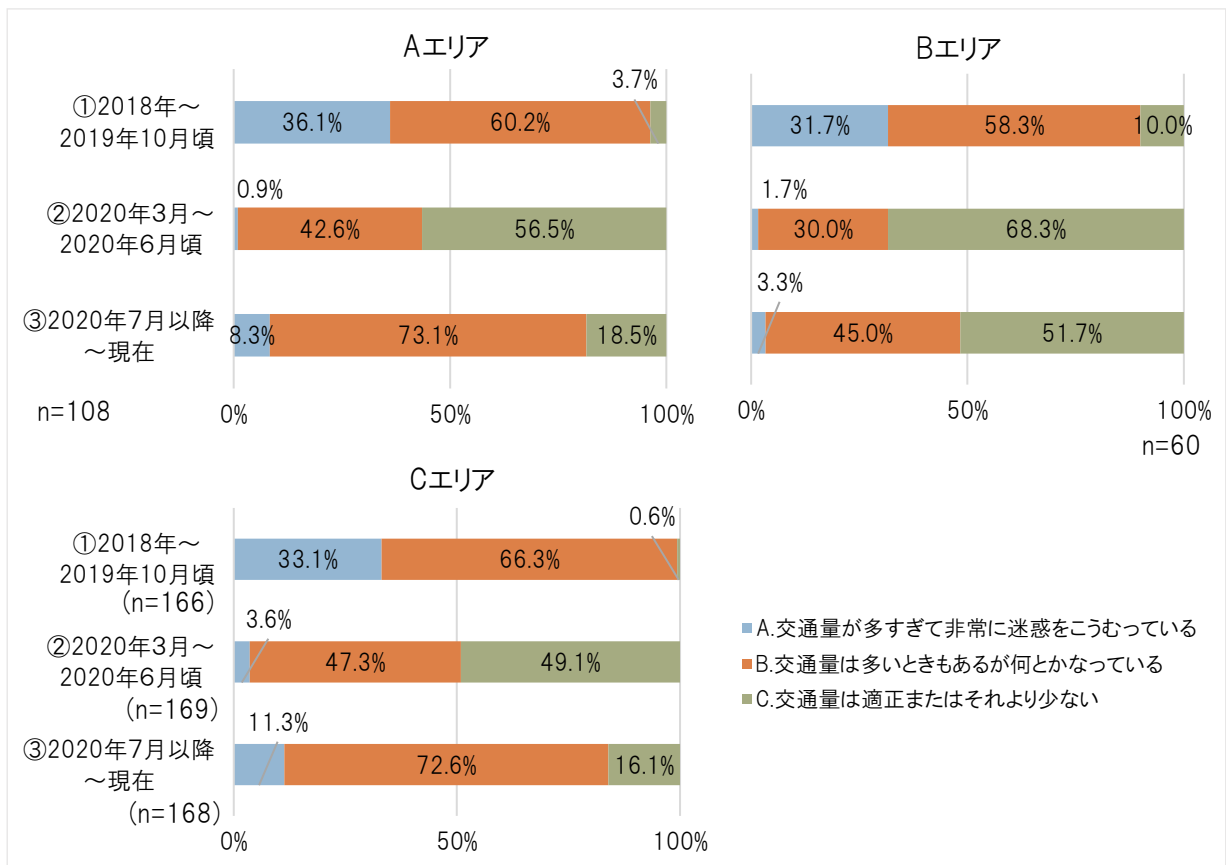
エリアごとに見ると、①観光客ピーク期においては、県道49号線の渋滞箇所があるAエリアの「A.交通量が多すぎて非常に迷惑をこうむっている」の割合が36.1%と最も高くなっている。一方で、②新型コロナウイルス感染症流行による人流減少期、③社会活動が一部再開し始めた過渡期においては、Cエリアの「A.交通量が多すぎて非常に迷惑をこうむっている」の割合が高い結果となった。

渋滞感覚	時期	Aエリア			Bエリア			Cエリア		
		①	②	③	①	②	③	①	②	③
A. 交通量が多すぎて非常に迷惑をこうむっている	回答数	39	1	9	19	1	2	55	6	19
	割合	36.1%	0.9%	8.3%	31.7%	1.7%	3.3%	33.1%	3.6%	11.3%
B. 交通量が多いときもあるが何とかなっている	回答数	65	46	79	35	18	27	110	80	122
	割合	60.2%	42.6%	73.1%	58.3%	30.0%	45.0%	66.3%	47.3%	72.6%
C. 交通量は適正またはそれより少ない	回答数	4	61	20	6	41	31	1	83	27
	割合	3.7%	56.5%	18.5%	10.0%	68.3%	51.7%	0.6%	49.1%	16.1%

●Aエリア: 首里城公園より北と首里城公園を含んだエリア 赤平町、池端町、大中町、儀保町、汀良町、当蔵町、桃原町、真和志町、山川町

●Bエリア: 首里城公園の南西側の傾斜地エリア 金城町、寒川町、字松川

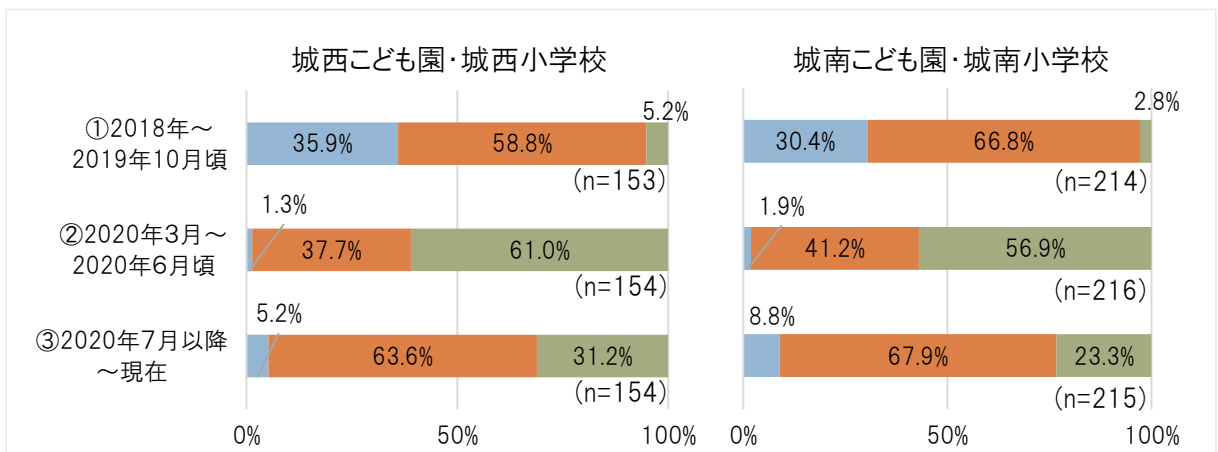
●Cエリア: 首里城公園の南東側の高台エリア 赤田町、崎山町、鳥堀町

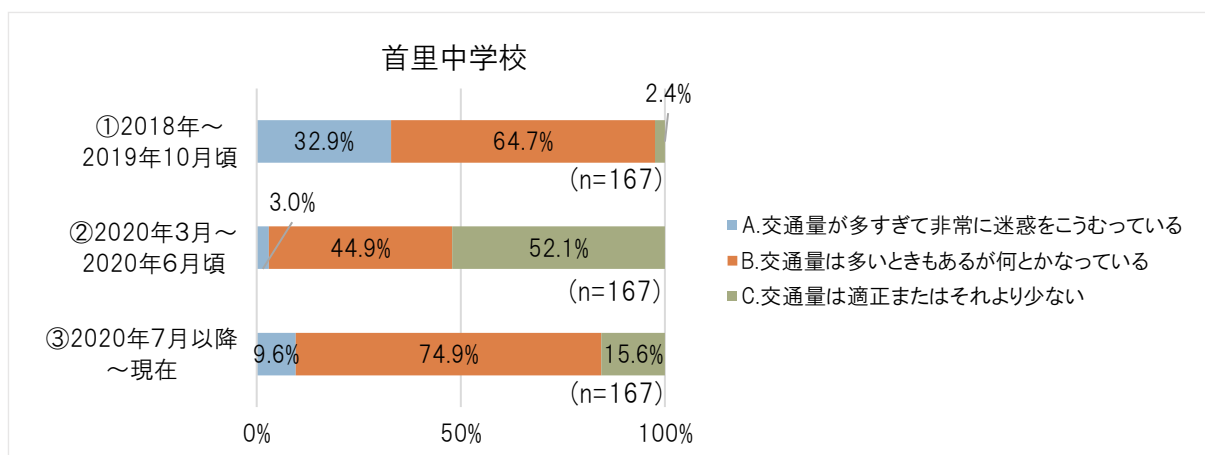


■学校クロス

エリアごとに見ると、①観光客ピーク期においては、城西こども園・城西小学校の「A.交通量が多すぎて非常に迷惑をこうむっている」の割合が35.9%と最も高くなっている。一方で、②新型コロナウイルス感染症流行による人流減少期、③社会活動が一部再開し始めた過渡期においては、首里中学校の「A.交通量が多すぎて非常に迷惑をこうむっている」の割合が高い結果となった。

渋滞感覚	時期	城西こども園・城西小学校			城南こども園・城南小学校			首里中学校		
		①	②	③	①	②	③	①	②	③
A.交通量が多すぎて非常に迷惑をこうむっている	回答数	55	2	8	65	4	19	55	5	16
	割合	35.9%	1.3%	5.2%	30.4%	1.9%	8.8%	32.9%	3.0%	9.6%
B.交通量が多いときもあるが何とかこなしている	回答数	90	58	98	143	89	146	108	75	125
	割合	58.8%	37.7%	63.6%	66.8%	41.2%	67.9%	64.7%	44.9%	74.9%
C.交通量は適正またはそれより少ない	回答数	8	94	48	6	123	50	4	87	26
	割合	5.2%	61.0%	31.2%	2.8%	56.9%	23.3%	2.4%	52.1%	15.6%





⑥首里杜地区の交通の問題

今後のまちづくりを考える上で、首里杜地区の交通について問題に感じていることを伺った。AからIの9項目に対し、問題に感じていることを3番目まで選んでもらった。さらに順位に応じて各項目の回答数に点数を付けて、全体的な傾向を分析した。

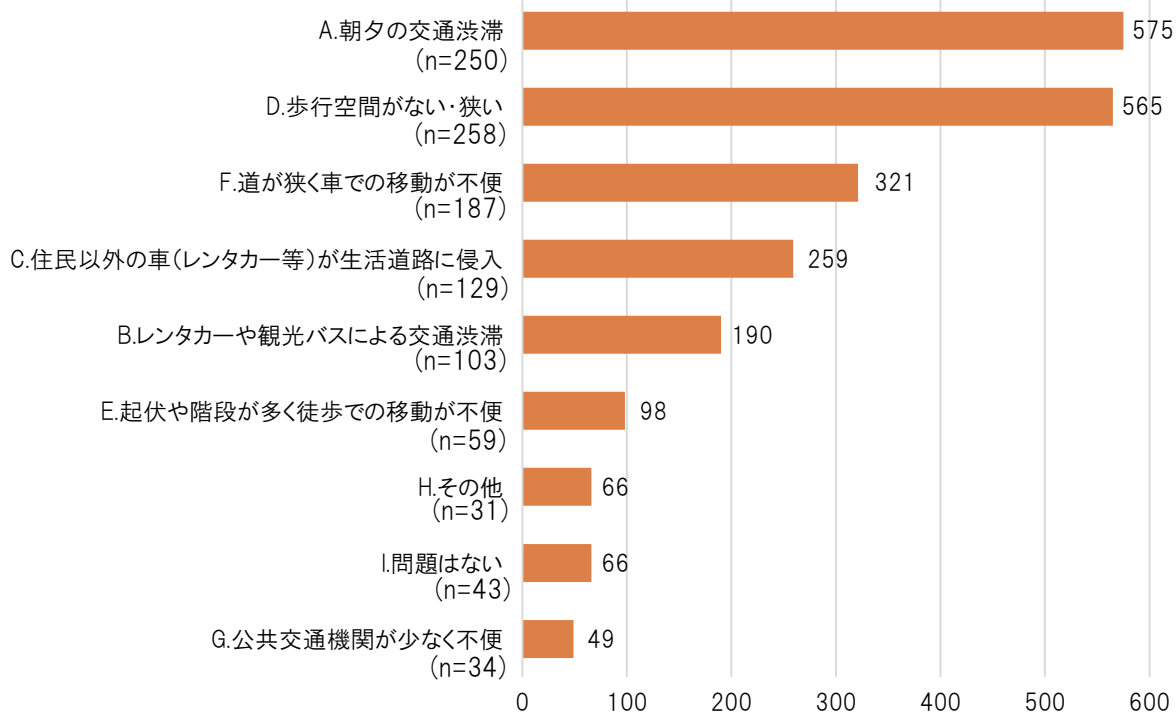
順位	点数
1番目に選ばれた項目	3点
2番目に選ばれた項目	2点
3番目に選ばれた項目	1点

最も点数が高かったのは「A.朝夕の交通渋滞」575点であり、次いで「D.歩行空間がない・狭い」565点、「F.道が狭く車での移動が不便」321点となった。

住民アンケートと同様、通勤・通学の時間帯に集中して起こる交通渋滞が大きな問題として認識されている。一方、観光車両による交通渋滞は5位であり、住民アンケートよりは低い順位となっている。また、歩行空間や道路の狭さなど道路環境から起こる問題が上位にあることも住民アンケートと違う点である。

交通の問題	1番目に問題(3点)		2番目に問題(2点)		3番目に問題(1点)		合計	
	回答数	点数	回答数	点数	回答数	点数	回答数	点数
A.朝夕の交通渋滞	132	396	61	122	57	57	250	575
D.歩行空間がない・狭い	109	327	89	178	60	60	258	565
F.道が狭く車での移動が不便	30	90	74	148	83	83	187	321
C.住民以外の車(レンタカー等)が生活道路に侵	41	123	48	96	40	40	129	259
B.レンタカーや観光バスによる交通渋滞	20	60	47	94	36	36	103	190
E.起伏や階段が多く徒歩での移動が不便	11	33	17	34	31	31	59	98
H.その他	14	42	7	14	10	10	31	66
I.問題はない	5	15	13	26	25	25	43	66
G.公共交通機関が少なく不便	3	9	9	18	22	22	34	49

首里杜地区の交通の問題



「H.その他」の主な内容

【交通ルール、交通安全の啓発】(11件)

- ・信号のない歩道で車が一時停止しない
- ・歩道を渡る時に、左折車がなかなか止まってくれない。崎山交差点
- ・歩行者信号が青でも、車が信号無視して突っ込んでくる事が多々ありました(龍潭池側) など

【路上駐車】(7件)

- ・歩道に駐車する車がある。
- ・崎山ハイツ内の路駐が多くて迷惑しています
- ・狭い道に路上駐車が多く危険 など

【交通環境の改善】(4件)

- ・バスレーンをなくしてほしい
- ・分離帯が増えて、大回りをしてUターンをしたり、そのための右折帯が渋滞している
- ・大通りなどに出るまでの道が少なく、渋滞につながっていると感じる など

【道路空間の整備、管理】(8件)

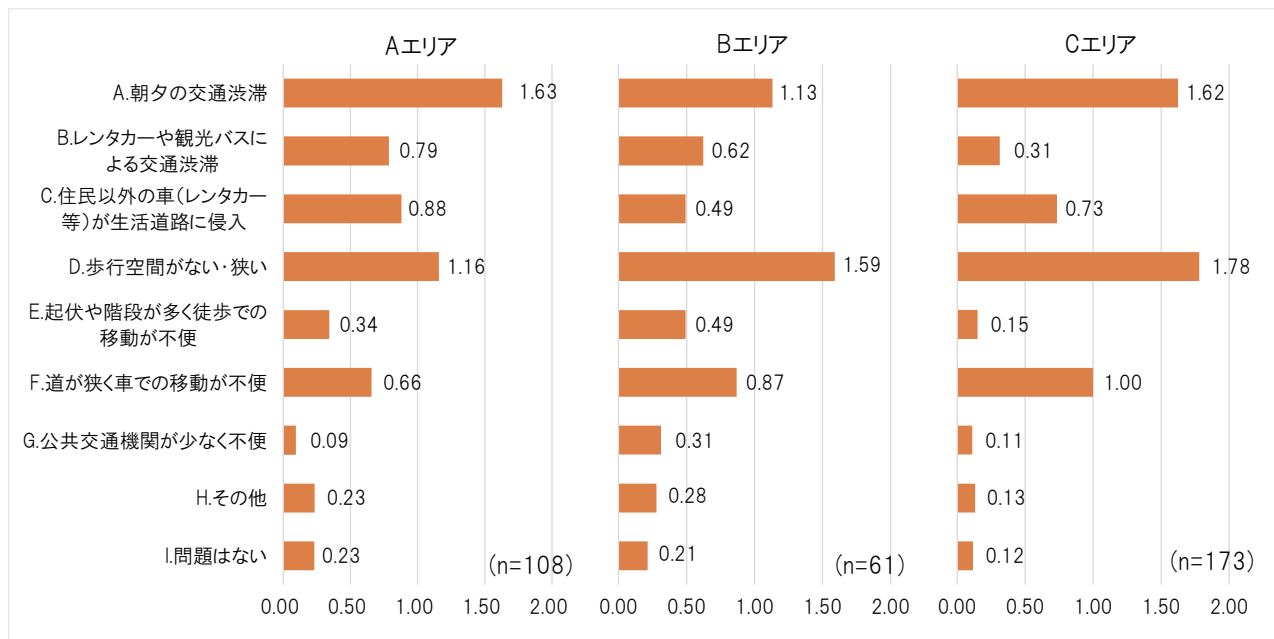
- ・電柱が埋めてあると良いと思う
- ・JA 首里城下街店前の横断歩道が見えづらく車がスピードを出すので危険
- ・横断歩道がわかりにくい(薄くなくてもそのまま) など

■居住地区クロス

各項目の点数をエリアごとの回答者数で割り、平均点を出した。

A エリアでは「A.朝夕の交通渋滞」が 1.63 点と最も高い結果となった。県道 28 号線や 29 号線といった幹線道路があることが要因と推察される。一方で、B エリアと C エリアでは「D.歩行空間がない・狭い」がそれぞれ 1.59 点、1.78 点と最も高くなった。

交通問題	Aエリア		Bエリア		Cエリア	
	点数合計	点数平均	点数合計	点数平均	点数合計	点数平均
A.朝夕の交通渋滞	176	1.63	69	1.13	281	1.62
B.レンタカーや観光バスによる交通渋滞	85	0.79	38	0.62	54	0.31
C.住民以外の車(レンタカー等)が生活道路に侵入	95	0.88	30	0.49	127	0.73
D.歩行空間がない・狭い	125	1.16	97	1.59	308	1.78
E.起伏や階段が多く徒歩での移動が不便	37	0.34	30	0.49	26	0.15
F.道が狭く車での移動が不便	71	0.66	53	0.87	173	1.00
G.公共交通機関が少なく不便	10	0.09	19	0.31	19	0.11
H.その他	25	0.23	17	0.28	23	0.13
I.問題はない	25	0.23	13	0.21	20	0.12

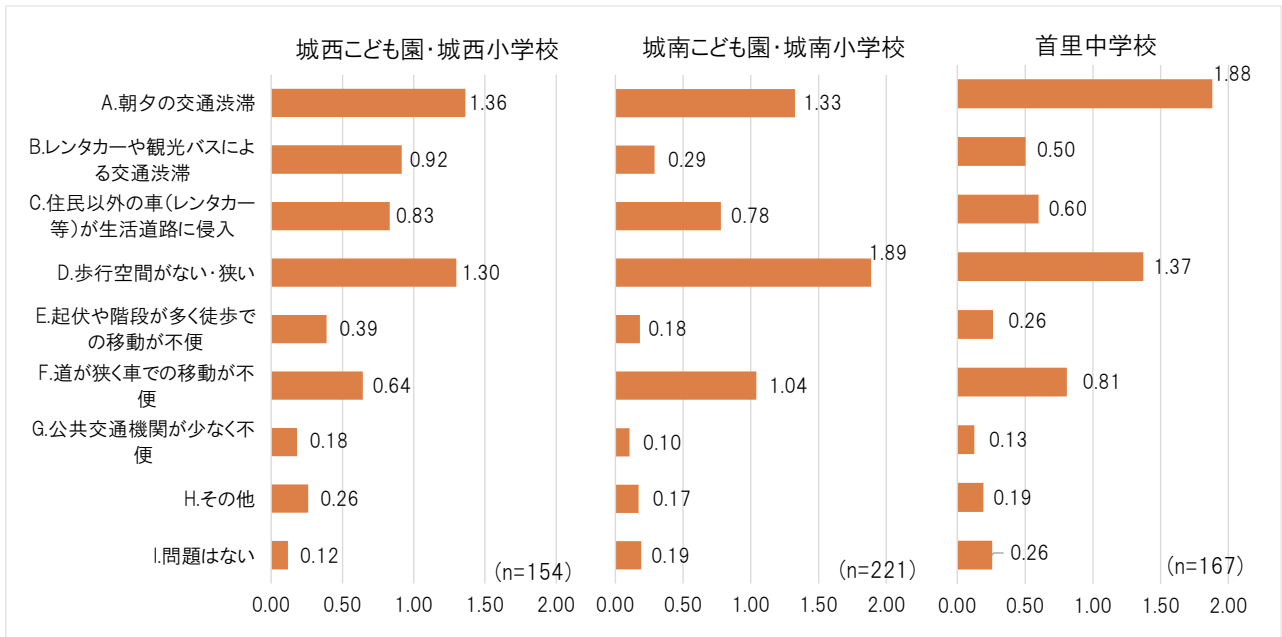


- Aエリア: 首里城公園より北と首里城公園を含んだエリア 赤平町、池端町、大中町、儀保町、汀良町、当蔵町、桃原町、真和志町、山川町
- Bエリア: 首里城公園の南西側の傾斜地エリア 金城町、寒川町、字松川
- Cエリア: 首里城公園の南東側の高台エリア 赤田町、崎山町、鳥堀町

■学校クロス

城西こども園・城西小学校と、首里中学校では「A.朝夕の交通渋滞」がそれぞれ 1.36 点、1.88 点と最も高い結果となった。一方で、城南こども園・城南小学校は「D.歩行空間がない・狭い」が 1.89 点と最も高くなった。

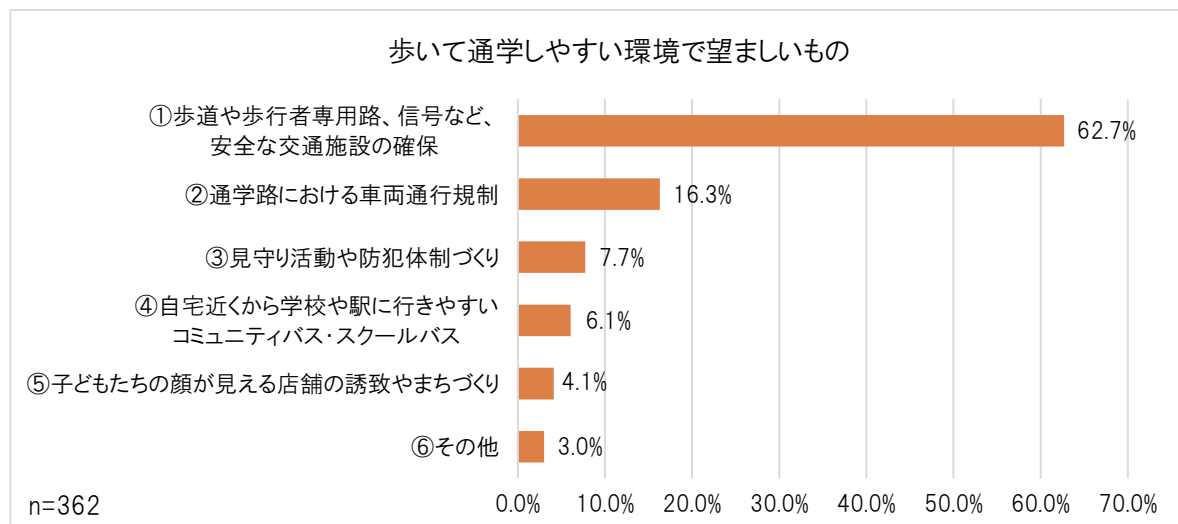
交通問題	城西こども園 城西小学校		城南こども園 城南小学校		首里中学校	
	点数合計	点数平均	点数合計	点数平均	点数合計	点数平均
A.朝夕の交通渋滞	210	1.36	293	1.33	314	1.88
B.レンタカーや観光バスによる交通渋滞	141	0.92	64	0.29	84	0.50
C.住民以外の車(レンタカー等)が生活道路に侵入	128	0.83	172	0.78	100	0.60
D.歩行空間がない・狭い	200	1.30	417	1.89	229	1.37
E.起伏や階段が多く徒歩での移動が不便	60	0.39	40	0.18	44	0.26
F.道が狭く車での移動が不便	99	0.64	230	1.04	135	0.81
G.公共交通機関が少なく不便	28	0.18	23	0.10	21	0.13
H.その他	40	0.26	38	0.17	32	0.19
I.問題はない	18	0.12	42	0.19	43	0.26



⑦歩いて通学しやすい環境

子ども達が通学しやすい環境を整えるとしたらどれが望ましいかについて伺った。「①歩道や歩行者専用路、信号など、安全な交通施設の確保」227人（62.7%）が最も多く、次いで「②通学路における車両通行規制」59人（16.3%）、「③見守り活動や防犯体制づくり」28人（7.7%）となった。

歩いて通学しやすい環境	回答数	割合
①歩道や歩行者専用路、信号など、安全な交通施設の確保	227	62.7%
②通学路における車両通行規制	59	16.3%
③見守り活動や防犯体制づくり	28	7.7%
④自宅近くから学校や駅に行きやすいコミュニティバス・スクールバス	22	6.1%
⑤子どもたちの顔が見える店舗の誘致やまちづくり	15	4.1%
⑥その他	11	3.0%
無回答	4	-
合計(無回答除く)	362	100.0%



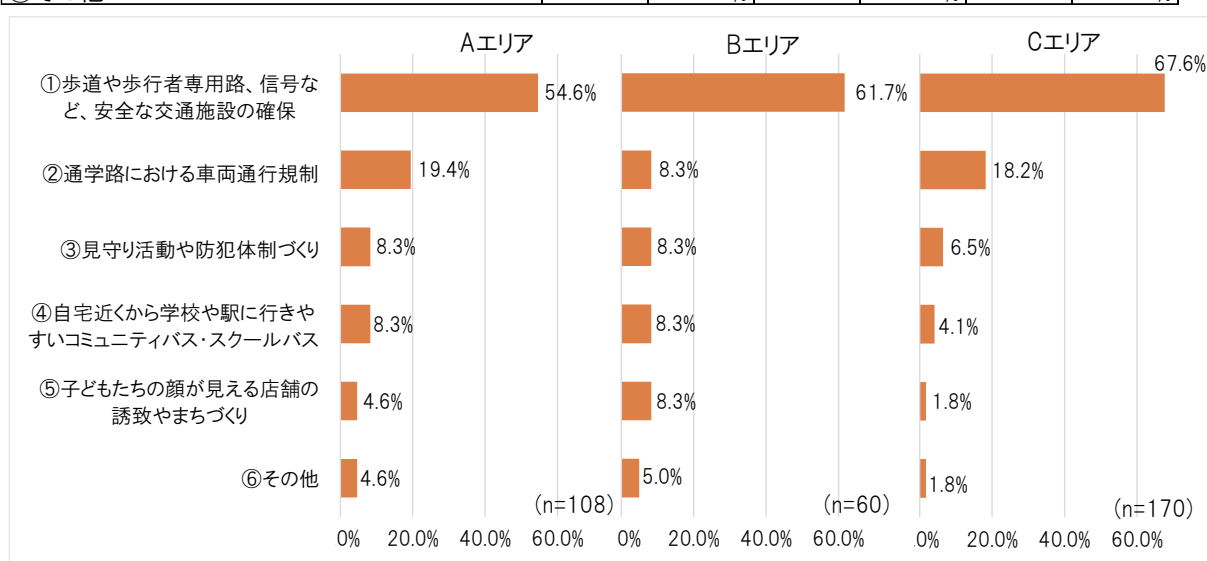
「⑥その他」の主な内容

- ・街路樹や歩道の手入れ(1人)
- ・歩道橋の設置(1人)
- ・街灯、防犯カメラ設置(1人)
- ・一方通行や専用道路の設置(1人)
- ・首里駅や儀保駅間を往復するコミュニティバスの運行(1人) など
- ・ドライバーへの交通ルール遵守の呼びかけ(1人)
- ・親への徒歩通学の啓発(1人)
- ・歩道のガードレール設置(1人)

■居住地区クロス

C エリアでは他のエリアと比べ「①歩道や歩行者専用路、信号など、安全な交通施設の確保」が 67.6%と最も高い結果となった。また、A エリアと C エリアでは「②通学路における車両通行規制」が 20%に近い割合となっており、2 番目に高い結果となった。

歩いて通学しやすい環境	Aエリア		Bエリア		Cエリア	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
①歩道や歩行者専用路、信号など、安全な交通施設の確保	59	54.6%	37	61.7%	115	67.6%
②通学路における車両通行規制	21	19.4%	5	8.3%	31	18.2%
③見守り活動や防犯体制づくり	9	8.3%	5	8.3%	11	6.5%
④自宅近くから学校や駅に行きやすいコミュニティバス・スクールバス	9	8.3%	5	8.3%	7	4.1%
⑤子どもたちの顔が見える店舗の誘致やまちづくり	5	4.6%	5	8.3%	3	1.8%
⑥その他	5	4.6%	3	5.0%	3	1.8%



●Aエリア: 首里城公園より北と首里城公園を含んだエリア 赤平町、池端町、大中町、儀保町、汀良町、当蔵町、桃原町、真和志町、山川町

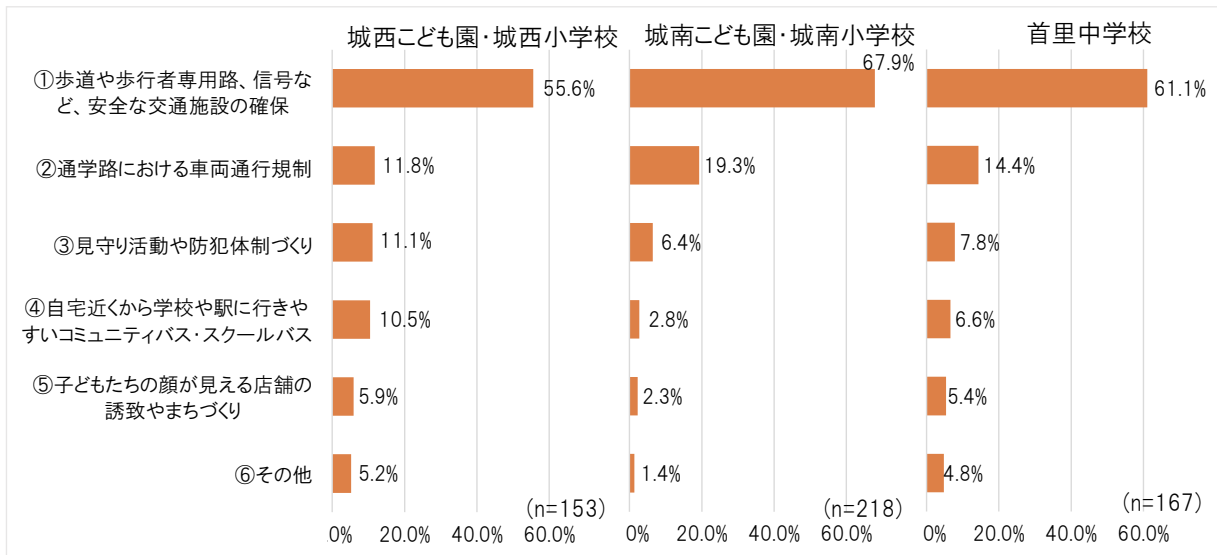
●Bエリア: 首里城公園の南西側の傾斜地エリア 金城町、寒川町、字松川

●Cエリア: 首里城公園の南東側の高台エリア 赤田町、崎山町、鳥堀町

■学校クロス

城南こども園・城南小学校では「①歩道や歩行者専用路、信号など、安全な交通施設の確保」が 67.9%、「②通学路における車両通行規制」が 19.3%と他のエリアよりも高い結果となった。

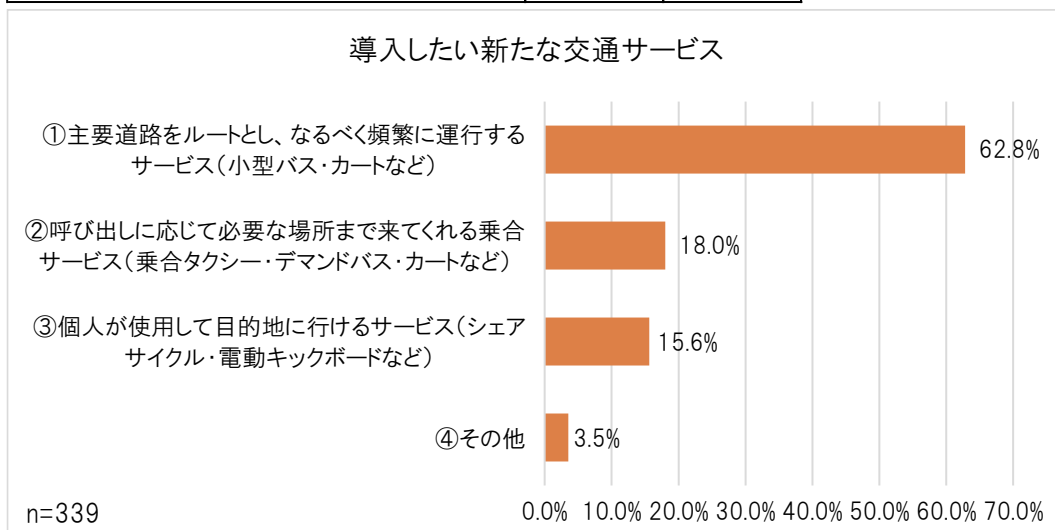
歩いて通学しやすい環境	城西こども園 城西小学校		城南こども園 城南小学校		首里中学校	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
①歩道や歩行者専用路、信号など、安全な交通施設の確保	85	55.6%	148	67.9%	102	61.1%
②通学路における車両通行規制	18	11.8%	42	19.3%	24	14.4%
③見守り活動や防犯体制づくり	17	11.1%	14	6.4%	13	7.8%
④自宅近くから学校や駅に行きやすいコミュニティバス・スクールバス	16	10.5%	6	2.8%	11	6.6%
⑤子どもたちの顔が見える店舗の誘致やまちづくり	9	5.9%	5	2.3%	9	5.4%
⑥その他	8	5.2%	3	1.4%	8	4.8%



⑧導入したい新たな交通サービス

首里杜地区内で車以外の手段として新たな交通サービスを導入するとしたらどれが望ましいかについて伺った（ない場合は回答不要とした）。「①主要道路をルートとし、なるべく頻繁に運行するサービス（小型バス・カートなど）」213人（62.8%）が最も多く、次いで「②呼び出しに応じて必要な場所まで来てくれる乗合サービス（乗合タクシー・デマンドバス・カートなど）」61人（18.0%）、「③個人が使用して目的地に行けるサービス（シェアサイクル・電動キックボードなど）」53人（15.6%）、となった。

導入したい新たな交通サービス	回答数	割合
①主要道路をルートとし、なるべく頻繁に運行するサービス(小型バス・カートなど)	213	62.8%
②呼び出しに応じて必要な場所まで来てくれる乗合サービス(乗合タクシー・デマンドバス・カートなど)	61	18.0%
③個人が使用して目的地に行けるサービス(シェアサイクル・電動キックボードなど)	53	15.6%
④その他	12	3.5%
無回答	27	-
合計(無回答除く)	339	100.0%



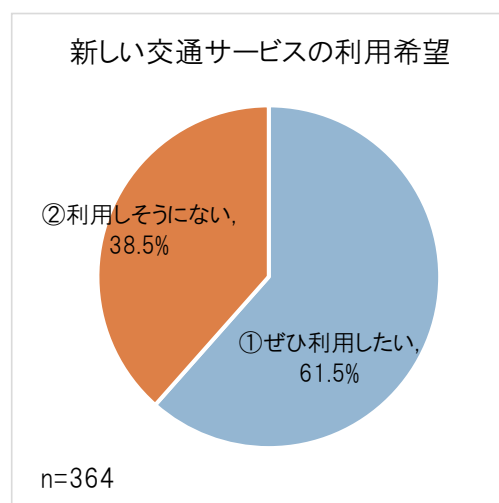
「④その他」の主な内容

- ・首里城までの街並みを整備し、歩いて楽しめる作りに変える。例えば首里駅から歩いて首里城に向かえるよう商店(伝統工芸・土産・休憩所になるカフェ)などを整備することで地域経済効果を高める。交通量が減れば、空気が綺麗で文化的な等身大の首里城下町を堪能してもらえる。モンサンミッシェルなどを参考にすると良いと思う。
- ・道路拡張
- ・一部狭い道の一方通行
- ・首里駅や儀保駅間を往復するコミュニティバスを運行させ、一般車両を通行禁止にする 住人については割引あるいは無料にする措置があればなおいいのではないかとおもいます。住人以外も可能であれば無料、格安にすれば首里地区の経済発展の為に人流と深刻な渋滞問題ともに解決できるのではないかと、一人妄想しております。単純な多数決や妥協案ではなく、子供達や孫世代に素晴らしい首里地区となる事が予想できるような方法を期待します
- ・首里地区を安く移動できるタクシーなど
- ・首里杜地区内ルートなら観光客以外は利用しないと思う。
- ・スクールゾーン時間は車両を入れない
- ・歩いていけるスーパーが無いので車を使わざるを得ないので、スーパーを誘致してほしい。
- ・沖縄県に旅行に来る観光客から沖縄県に入る為の料金をもらった方が良い
- ・現状でまあ OK
- ・特に必要ない

⑨新しい交通サービス(有料)の利用希望

前項目で示した新たな交通サービス(有料)が首里で導入された場合、利用したいかを伺った。「①ぜひ利用したい」224人(61.5%)が最も多く、次いで「②利用しそえない」140人(38.5%)となった。

新しい交通サービスの利用希望	回答数	割合
①ぜひ利用したい	224	61.5%
②利用しそえない	140	38.5%
無回答	2	-
合計(無回答除く)	364	100.0%



3. 各種アンケート調査票

(1) 首里杜地区住民アンケート調査票

< アンケート調査票 >	
1 あなたについて	
問 1. 年代を教えてください。	① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代 ⑧ 80代 ⑨ 90代以上
問 2. 現在お住まいの地区はどこですか。(五十音順)	① 赤田 ② 赤平 ③ 池端 ④ 大中 ⑤ 金城 ⑥ 儀保 ⑦ 崎山 ⑧ 寒川 ⑨ 汀良 ⑩ 当蔵 ⑪ 桃原 ⑫ 鳥堀 ⑬ 松川 ⑭ 真和志 ⑮ 山川
	丁目 <input type="text"/>
問 3. 世帯構成を教えてください。	① 単身世帯 ② ご夫婦のみ ③ 2世代世帯 ④ 3世代世帯 ⑤ その他 ()
問 4. 地域活動に参加していますか。加入・参加している組織をお答えください。(いくつでも)	① 自治会 ② 古都首里のまちづくり期成会 ③ 御茶屋御殿復元期成会 ④ 城西小学校区まちづくり協議会 ⑤ 首里三ヶ城南校区まちづくり協議会 ⑥ 首里まちづくり研究会 ⑦ その他 () ⑧ 加入団体も活動への参加もない
問 5. 現在の場所にお住まいの年数はどのくらいですか。	① 5年未満 ② 5～10年 ③ 10～20年 ④ 20～30年 ⑤ 30年以上
問 6. 今後も首里(首里杜地区内)に住み続けたいと思いますか。	① 今後も首里に住みたい ② 住みたくない ③ わからない
問 7. それはなぜですか。理由をお聞かせください。	<input style="width: 100%; height: 40px;" type="text"/>
2 交通について	
問 1. あなたが、日常出かける時(通勤や通学、買い物など)に、最もよく使う交通手段は何ですか。一つだけ選んでください。	① 自家用車(自分で運転) ② 自家用車(家族等の運転に同乗) ③ モノレール ④ 路線バス ⑤ タクシー ⑥ 施設等の送迎バス ⑦ オートバイ ⑧ 自転車 ⑨ 徒歩 ⑩ その他 ()
中面へ続く	
1	

問 2. あなたの世帯では、自家用車を所有していますか。

「所有している」を選択した方は、所有台数を教えてください

① 所有している → 台

② 所有していない

問 3. あなたの世帯には、公共交通機関を必要としている人がいますか。

① いる 「いる」を選択した場合は、その方が公共交通を必要とする理由を選んでください

② いない

- A 免許を取得していない B 免許を返納した（する）
- C 自家用車を持っていない D その他（ ）

問 4. 近年、新型コロナウイルスに伴い、首里杜地区の交通の状況が大きく変わりました。あなたの感じ方はどれに近いですか。下記の 3 つの期間について、それぞれお答えください。（記号を記入してください）

① 2018(H30)年～2019(R1)年 10 月頃
【観光客数ピーク期（首里城焼失やコロナ感染症が発生する以前）】

② 2020(R2)年 3 月～2020 年 6 月頃
【人流減少期（緊急事態宣言による外出自粛、海外客の入域規制、大規模休校で、入出が大きく減少した期間）】

③ 2020(R2)年 7 月以降～現在
【過渡期（県民及び観光客等の社会活動が一部再開している期間）】

- A 交通量が多すぎて非常に迷惑をこうむっている
- B 交通量が多いときもあるが何とかなっている C 交通量は適正またはそれより少ない

問 5. 今後のまちづくりを考える上で、首里杜地区の交通について、あなたが問題だと感じているのはどれですか。問題の大きなものから順に、3 つまで挙げてください。（記号を記入してください）

1 番目に問題 2 番目に問題 3 番目に問題

- A 朝夕の交通渋滞 B レンタカーや観光バスによる交通渋滞
- C 住民以外の車（レンタカー等）が生活道路に侵入
- D 歩行空間がない・狭い E 起伏や階段が多く徒歩での移動が不便
- F 道が狭く車での移動が不便 G 公共交通機関が少なく不便
- H その他（ ）
- I 問題はない

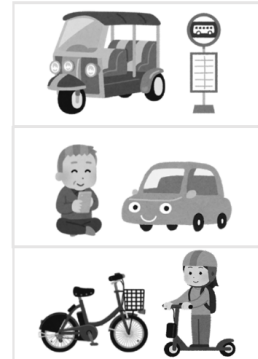
問6. 地域住民も観光客も利用できる地域内の移動手段として、首里地域で新たな交通サービスを導入するならば、どんなものが望ましいと思いますか。(最も望ましいと思うものを一つ選び○をつけて下さい。ない場合は記入不要です。)

① 主要道路をルートとし、なるべく頻繁に運行するサービス
(小型バス・カートなど)

② 呼び出しに応じて必要な場所まで来てくれる乗合サービス
(乗合タクシー・デマンドバス・カートなど)

③ 個人が使用して目的地に行けるサービス
(シェアサイクル・電動キックボードなど)

④ その他



問7. 問6のような新しい交通サービス(有料)が首里で導入された場合、利用したいと思いますか。

① ぜひ利用したい

② 利用しそうにない

3 景観・文化のまちづくりについて

問1. 首里で残していきたい、首里らしいと感じられる場所や道すじをいくつか教えてください。(できれば理由も)

問2. 首里のまちに活かしていきたいと思う文化資源について、当てはまるものをお答えください。(いくつでも)

- ① 古木・大木 ② カー(共同井戸) ③ 拝所・御嶽 ④ 石垣のまちなみ
 ⑤ 石畳の道 ⑥ 赤瓦屋根 ⑦ 生垣・屋敷林 ⑧ 祭り・行催事
 ⑨ 庭園 ⑩ 寺・寺跡 ⑪ その他()

問3. 首里らしさや文化資源を後世に受け継ぐために、どのような対策が必要だと思いますか。(いくつでも)

- ① 文化資源等を広く知ってもらう ② 歴史文化資源等を保護する制度の充実
 ③ 伝統行事の維持・再現を支援する制度の充実 ④ 水資源やまちなかの緑を保全活用する制度の充実
 ⑤ 文化芸能の担い手育成 ⑥ 自治会や地域団体の担い手確保
 ⑦ 文化資源等の産業化 ⑧ 公共施設や道路への首里らしいデザインの採用
 ⑨ 赤瓦屋根や石垣、屋敷林の維持への支援 ⑩ 高い建物や不調和なデザインの規制
 ⑪ その他()

裏面へ続く

問 4. 首里らしい景観を守るための、建築や開発に関するルールについてどう思いますか。
(※例えば、龍潭通りや首里金城町石畳周辺には、高さや色、屋根、緑などのルールがあります)

- ① 何らかのルールはあったほうがよい ② ルールはできるだけないほうがよい
③ わからない

問 5. 首里らしい景観を守るためのルールがお住まいの地域にあったとしたら、ご自宅等を改築する際にルールに合った形態に合わせようと思いますか。

- ① 協力したい ② 費用等の助成があれば協力を考える ③ 協力したくない

問 6. 首里らしい景観や文化資源は観光においても魅力ですが、観光と地域住民の生活の両立のために必要だと思うことは何ですか？(いくつでも)

- ① 地域に経済的なメリットがある ② 店舗や工房の立地を誘導する
③ 観光交通が過剰にならない ④ 適正な来訪者人数の設定
⑤ ごみ、騒音などの被害がない ⑥ 来訪者が首里の文化や生活に理解を深める
⑦ その他 ()

4 首里城公園整備について

問 1. 中城御殿は、昔の王家の屋敷を体現する木造建物や庭園を復元し、展示や体験の施設として整備する予定です。地域に開かれた施設とする場合、どのような場として利用したいですか。(いくつでも)

- ① 広場・庭の日常開放 ② 施設のイベントへの参加
③ 展示会・講座等での利用
④ 建物や庭園を使った施設(パーティ・結婚式等)の利用
⑤ 地域住民やガイドボランティアも利用できる交流室 ⑥ まちづくり団体の拠点としての利用
⑦ その他 ()

問 2. 首里城公園(龍潭や上の毛、玉陵等も含む)を今後さらに活用するとして、どんな利用や関わり方がしたいですか。

- ① 日常の自由な散策 ② 現地解説サービスを受ける
③ 子供たちの学習の場 ④ 飲食の場
⑤ 地域住民の活躍の場(ガイドボランティア、旗頭や獅子舞、芸能・空手等)
⑥ 祭り・イベントの場としての利用 ⑦ 継世門(赤田御門)からの有料区域入出場
⑧ 地域が積極的に公園管理にかかわる ⑨ その他 ()

アンケートは以上です。ありがとうございました。
返信用封筒に入れてご返送ください。

(2)学校保護者アンケート調査票

1

お住まいの場所を教えてください。(字名) *

- ①赤田
- ②赤平
- ③池端
- ④大中
- ⑤金城
- ⑥俣保
- ⑦崎山
- ⑧寒川
- ⑨汀良
- ⑩当蔵
- ⑪桃原
- ⑫鳥塚
- ⑬松川
- ⑭真和志
- ⑮山川

その他

2

お住まいの場所を教えてください。(丁目) *

- 1丁目
- 2丁目
- 3丁目
- 4丁目
- 丁目なし

3

あなたの世帯では、自家用車を所有していますか。 *

- ①所有している
- ②所有していない

4

問4で「①所有している」を選択した方は、所有台数を教えてください。 *

5

首里地区内の学校に通学するお子さんについて教えてください。(最大2人)
1人目のお子様について、どちらの学校に通っていますか。*

- ①城西こども園
- ②城南こども園
- ③城西小学校
- ④城南小学校
- ⑤首里中学校

6

問5の学校に、自家用車でお子さんを送ることはありますか。(登校時)*

- ①ほぼ毎日、送っている(週4～5日)
- ②時々送ることがある(週2～3日)
- ③特別な事情がない限り送らない(週1日以下)

7

問5の学校に、自家用車でお子さんを迎えることはありますか。(下校時)*

- ①ほぼ毎日、迎えている(週4～5日)
- ②時々迎えることがある(週2～3日)
- ③特別な事情がない限り迎えない(週1日以下)

8

問6、問7で「①ほぼ毎日」「②時々」を選んだ方は、自家用車で送迎する理由について教えてください。

- ①家と学校が遠いため
- ②悪天候時の通学が危険なため
- ③防犯のため
- ④自家用車送迎のほうが都合がいいため(通勤のついで、習い事の送迎のついでなど)
-
- その他

9

2人目のお子様について、どちらの学校に通っていますか。

- ①城西こども園
- ②城南こども園
- ③城西小学校
- ④城南小学校
- ⑤首里中学校

10

問9の学校に、自家用車でお子さんを送ることはありますか。(登校時)

- ①ほぼ毎日、送っている(週4～5日)
- ②時々送ることがある(週2～3日)
- ③特別な事情がない限り送らない(週1日以下)

11

問9の学校に、自家用車でお子さんを迎えることはありますか。(下校時)

- ①ほぼ毎日、迎えている(週4～5日)
- ②時々迎えることがある(週2～3日)
- ③特別な事情がない限り迎えない(週1日以下)

12

問10、問11で「①ほぼ毎日」「②時々」を選んだ方は、自家用車で送迎する理由について教えてください。

- ①家と学校が遠いため
- ②悪天候時の通学が危険なため
- ③防犯のため
- ④自家用車送迎のほうが都合がよい(通勤のついで、習い事の送迎のついでなど)

その他

13

近年、新型コロナウイルス感染症に伴い、首里村地区の交通状況が大きく変わりました。あなたの感じ方はどれに近いですか。下記の3つの期間について、それぞれお答えください。*

A 交通量が多すぎて非常に迷惑をこうわっている B 交通量が多い時もあるが何とかなっている C 交通量は適正またはそれより少ない

①2018(H30)年～
2019(R1)年10月頃

【観光客ピーク期(首里城焼失やコロナ感染症が発生する以前)】

②2020(R2)年3月～
2020年6月頃

【人流減少期(緊急事態宣言による外出自粛、海外客の入域規制、大規模休校で入出が大きく減少した期間)】

③2020(R2)年7月以降
～現在

【過渡期(県民及び観光客などの社会活動が一部再開している期間)】

14

今後のまちづくりを考える上で、首里社地区の交通について、あなたが問題だと感じているのはどれですか。問題の大きなものから順に、3つまで挙げてください。まずは**1番目**を選んでください。*

- A 朝夕の交通渋滞
- B レンタカーや観光バスによる交通渋滞
- C 住民以外の車（レンタカー等）が生活道路に侵入
- D 歩行空間がない・狭い
- E 起伏や階段が多く徒歩での移動が不便
- F 道が狭く車での移動が不便
- G 公共交通機関が少なく不便
- H 問題は無い

その他

15

次に**2番目**を選んでください。*

- A 朝夕の交通渋滞
- B レンタカーや観光バスによる交通渋滞
- C 住民以外の車（レンタカー等）が生活道路に侵入
- D 歩行空間がない・狭い
- E 起伏や階段が多く徒歩での移動が不便
- F 道が狭く車での移動が不便
- G 公共交通機関が少なく不便
- H 問題は無い

その他

16

最後に**3番目**を選んでください。*

- A 朝夕の交通渋滞
- B レンタカーや観光バスによる交通渋滞
- C 住民以外の車（レンタカー等）が生活道路に侵入
- D 歩行空間がない・狭い
- E 起伏や階段が多く徒歩での移動が不便
- F 道が狭く車での移動が不便
- G 公共交通機関が少なく不便
- H 問題は無い

その他

17

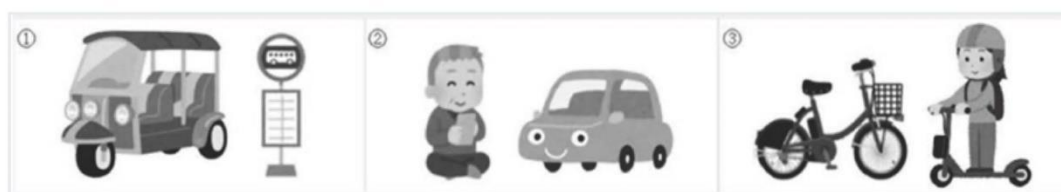
子どもたちが歩いて通学しやすいような環境を整えるとしたら、どれが望ましいですか。*

- ①歩道や歩行者専用路、信号など、安全な交通施設の確保
- ②通学路における車両通行規制
- ③見守り活動や防犯体制づくり
- ④自宅離隔から学校や駅に行きやすいコミュニティバス・スクールバス
- ⑤子どもたちの顔が見える店舗の誘致やまちづくり

その他

18

地域住民も観光客も利用できる地域内の移動手段として、首里地域で新たな交通サービスを導入するのなら、どんなものが望ましいと思いますか。
(最も望ましいと思うものを1つ選んでください。ない場合は記入不要です。)



- ①主要道路をルートとし、なるべく頻繁に運行するサービス（小型バス・カートなど）
- ②呼び出しに応じて必要な場所まで来てくれる乗合サービス（乗合タクシー・デマンドバス・カートなど）
- ③個人が使用して目的地に行けるサービス（シェアサイクル・電動キックボードなど）

その他

19

問18のような新しい交通サービス（有料）が首里で導入された場合、利用したいと思いますか。*

- ①ぜひ利用したい
- ②利用しそえない

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの枠内内に送信されます。

Microsoft Forms